

平成27年度 海外研修事業報告書

第15回カナダ・アメリカ派遣



バンクーバー空港にて

*WEB 上の報告書においては、生徒が特定できる写真、氏名等については配慮いたしました。

Surrey, British Columbia, Canada

研修期間：平成27年7月22日～7月31日

協力：Regent Christian Academy International School

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

国際化事業推進委員会

目 次

1. はじめに	2
2. 第15回高校生海外研修実施要項	3
3. 海外研修日程表	5
4. 海外研修ポスター	6
5. 海外研修・結団式	7
6. オリエンテーション	8
7. 海外研修での挨拶	8
8. 海外研修の概要	11
1日目 7月22日(水) 結団式及び出発 現地到着後、ホストファミリーとの対面	
2日目 7月23日(木) 現地学生との交流 一緒に工科大学(BCIT)見学	
3日目 7月24日(金) バンクーバー散策	
4日目 7月25日(土) 終日ホストファミリーと休日を過ごす	
5日目 7月26日(日) //	
6日目 7月27日(月) 国境を越えシアトルへ セーフコフィールド・航空博物館見学	
7日目 7月28日(火) スターバックス1号店で買い物 ボーイング社見学後、再びバンクーバーに戻る	
8日目 7月29日(水) 芸術系大学等見学 現地学生と交流会 さよならパーティー	
9日目 7月30日(木) 市内観光後、空港へ そして帰国の途に	
10日目 7月31日(金) 無事帰国	
9. 生徒の報告	16
10. アンケート結果	53
11. 研修生の感想	54
12. 結びに	57

1. はじめに

国際化事業推進委員会委員長 笹原 哲也
(神奈川県立藤沢工科高等学校長)

全国工業高等学校長協会主催による第15回海外派遣研修事業を、平成27年7月22日(水)～31日(金)に北米(カナダ・バンクーバー、アメリカ・シアトル)において実施しました。

本協会による生徒の海外派遣の試みは、文部科学省の支援を受けて、平成8年に生徒・教員をアメリカ・ニューヨークへ派遣したことが始まりです。その後、平成13年から今回のような高校生海外派遣の形となり、今年度で第15回を迎えました。第1回～第10回までは、オーストラリア・アデレードにおいて、16日間のホームステイ及び現地校での語学研修を中心とした研修プログラムを実施し成果を上げており、第11回からは、それまでの実施内容を見直し、訪問国・研修期間・研修内容を北米カナダ、10日間のホームステイ、現地校生徒との交流を通して行う語学研修に変更しました。研修に参加した生徒は交流を通して異文化に触れるとともに、航空博物館や工業教育に関する高等教育機関や公共施設、企業等の見学・訪問を実施してきました。

今年度の研修先は、カナダ・バンクーバー近郊のサレーにある私立学校 Pacific Academy です。参加生徒は、男子は2名1組で、女子は1名でホームステイを行い、同校の生徒と交流をしながら語学研修を行いました。またバンクーバー近郊にあるブリティッシュコロンビア工科大学等の視察、さらに陸路でアメリカに渡ってシアトルにある航空博物館やボーイング社の工場見学を行いました。研修期間中は保護者の皆さんに安心していただくため、また海外研修への理解を深めるため、引率教員がブログを開設し研修中の生徒の様子を可能な限り情報発信しました。

本報告書は、研修中の生徒が参加を共にした仲間やホストファミリーに支えられ、日々の活動や経験が各々の自信へとつながっていく様子を研修の概要や参加生徒の報告・感想をまじえて掲載しています。ご覧いただき、様々な活動の場面での生徒の心の動きや成長を次の4つの場面を通して感じていただければ幸いです。

- 1 不安と期待 「Pacific Academy での研修」
- 2 仲間との絆 「シアトルでの研修」
- 3 異文化理解 「ホストファミリーとの生活」
- 4 経験と自信 「市内見学、Pacific Academy の生徒との交流、フェアウェルパーティ」

今回海外研修に参加した20名の高校生は、全国から選ばれた工業高校生です。彼らは10日間の研修内容に積極的に取り組み、カナダのホームステイ先の家族との交流を通して、より一層の語学力とコミュニケーション能力を身につけることができましたと思います。また、バンクーバーやシアトルで企業や博物館等を見学し、外国の歴史や文化・技術に触れ、様々なことを学んだに違いありません。

日本とは異なった文化や歴史に触れた経験は、将来、彼らを必ず自他共に尊重できる国際人として、また工業技術者として国際貢献できる人間に育ててくれるものと確信しています。生徒たちは、それぞれの将来に、少しの不安と大きな期待をもって帰国しました。この経験が、彼らの人生の新たな出発点になったことを報告いたします。

本研修を実施するにあたり、ご尽力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼と感謝を申し上げます。

2. 第15回高校生海外研修実施要項

① 第15回高校生海外研修実施要項

1. 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚や英会話能力を身に付ける教育が求められています。このような社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施する。
2. 期 日 平成27年7月22日（水）～7月31日（金）の10日間
3. 研修地 カナダ（バンクーバー・サリー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）
4. 研修内容 語学研修、学校見学、企業視察、現地学生との交流、ホームステイ等
5. 宿泊先 現地家庭（ホームステイ）、ホテル
6. 経 費 350,000円（旅行費用、参加生徒20名で算出）
なお、空港施設使用税・保安サービス料、燃料特別付加運賃、航空保険料等の経費（約70,000円）は旅行費用には含まず、全工協会が負担する。
7. 補助金 1）一律補助：選考された参加者に旅行費用として100,000円を補助する。
2）その他上記補助に加えて50,000円をジュニアマイスターゴールド顕彰者、リスニング英語検定1級合格者、高校生ものづくりコンテスト全国大会出場者、技術・アイデアコンテスト入賞者（最優秀賞・優秀賞）、製図コンクール最優秀特別賞、高校生ロボット相撲全国大会入賞者（優賞～3位）、ジャパンマイコンカーラリー入賞者（優賞～3位）に奨学金として補助する。
8. 応募条件 会員校の生徒（学校長推薦者とし、複数推薦の場合は推薦順位を記して下さい）
9. 募集人員 20名
10. その他 1）希望者は「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し提出すること。
2）応募者多数の場合は委員会にて応募校原則1名として、書類選考する。
3）研修中の公式行事・通学時は制服を着用すること。
4）参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出すること。
11. 応募締切 平成27年5月15日（金）
12. 応募書類提出先・問い合わせ先
公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 山田勝彦
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1
TEL 03-3261-1500 yamada@zenkoukyo.or.jp

② 第15回高校生海外研修における教員参加実施要項

1. 目的 国際化時代を迎え、工業高校においては国際感覚や英会話能力を身に付ける教育が求められています。このような社会状況に鑑み、本協会では工業教育の活性化を図る事業の一環として本研修を実施する。
2. 期 日 平成27年7月22日（水）～7月31日（金）の10日間
3. 研修地 カナダ（バンクーバー・サリー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）
4. 研修内容 語学研修、学校見学、企業視察、文化交流、ホームステイ等
5. 宿泊先 ホームステイ、ホテル
6. 経 費 350,000円（旅行費用）
7. 補助金 一律補助：選考された参加者に旅行費用として35万円の内10万円を補助する。
なお、空港施設使用税・保安サービス料、燃料特別付加運賃、航空保険料等の経費（約70,000円）は旅行費用には含まず、全工協会が負担する。
8. 応募条件 会員校の教員（学校長及び学校長推薦者）
9. 募集人員 若干名（応募生徒数が20名に満たない場合に、20名から生徒数を引いた人数を教員枠として募集する。生徒で予定数が満たされた場合は教員枠無しとなる。）
10. その他
 - 1) 希望者は生徒用の「海外研修参加申込書」並びに「応募理由」（A4用紙800字程度）を本協会HPよりダウンロードした用紙に記入し校長を通して提出する（保護者氏名、学年等について不必要な箇所は削除し、生徒氏名は応募者氏名とする）。
 - 2) 校長から推薦された希望者を委員会で書類選考して、校長を通して連絡する。
 - 3) 現地では引率者の指示に従い、原則として、生徒の日程に沿って行動するが、宿泊は指定のホテルとする。
現地でのタクシー・路線バス・鉄道及び食事代等の雑費は各自負担とする。
休日及び生徒がホームステイ先に帰った後は各自のテーマに応じた行動とする。
 - 4) 参加者は帰国後、各自報告書（協会指定の形式）を提出する。
11. 応募締切 平成27年5月15日（金）
12. 応募書類提出先・問い合わせ先
公益社団法人全国工業高等学校長協会 事務局次長 山田勝彦
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-8-1
TEL 03-3261-1500 yamada@zenkoukyo.or.jp

3. 海外研修日程表

	月日	曜日	発着地・滞在地	現地時間	交通機関	行動予定・宿泊	食事
1	7/22	水	羽田空港集合 結団式 羽田空港発 バンクーバー着 バンクーバー郊外	17:00 17:30 21:50 14:55	航空機 専用車	羽田空港指定場所に集合 近在ホテルにて諸注意・結団式 —————日付変更線————— 入国審査・手荷物受け取り研修地へ オリエンテーション後、ホストファミリーと対面、各家庭へ分かれる (ホームステイ泊)	機内2回 昼 夕
2	7/23	木	バンクーバー郊外	午前 午後	専用車	カナダ人学生と一緒に英会話 BCIT キャンパス見学(バーナビーキャンパスの発電設備、木工実習教室や機械系の教室などを見学) (ホームステイ泊)	朝 昼 夕
3	7/24	金	バンクーバー郊外	終日	専用車	カナダ人学生と一緒にバンクーバー散策(市内、スタンレーパーク、キャピラノ吊橋などを見学) (ホームステイ泊)	朝 昼 夕
4 ~ 5	7/25 ~ 7/26	土 日	バンクーバー郊外	終日		ホストファミリーと一緒に過ごす (ホームステイ泊)	朝 昼 夕
6	7/27	月	バンクーバー郊外 シアトル	終日	専用車	バンクーバーよりシアトルへ シアトル市内、セーフコフィールドなどを見学 (ホテル泊)	朝 昼 夕
7	7/28	火	シアトル バンクーバー郊外	終日	専用車	ボーイング社工場、航空博物館などを見学後、バンクーバーへ (ホームステイ泊)	朝 昼 夕
8	7/29	水	バンクーバー郊外	午前 午後 夕刻	専用車	芸術系大学などを見学(Emily Carr University of Art + Design 校内ツアー) 現地学生と交流会 さよならパーティー (ホームステイ泊)	朝 昼 夕
9	7/30	木	バンクーバー郊外 バンクーバー発	午前 16:20	専用車 航空機	簡単な市内観光 バンクーバー空港から帰国の途へ (機中泊)	朝 昼 機内
10	7/31	金	羽田空港着 解散	18:30		羽田空港に到着 入国手続き後、解散	機内

4. 海外研修ポスター

平成27年度 第15回 高校生海外研修生募集



目的：全国から集った工業系高校の生徒が、ホームステイや現地の人々との交流をとおして、英語学習や外国文化の理解を深めてグローバル人材としての国際感覚を磨きます。

期間：平成27年7月22日（水）～7月31日（金）（10日間）

研修地：カナダ（バンクーバー、サリー地区）、アメリカ合衆国（シアトル）

経費：350,000円（旅行費用100,000円を補助します。）

募集人数：20名

応募締切：平成27年5月15日（金）

応募書類提出先・問い合わせ先

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 または、所属校の校長先生

(URL <http://www.zenkoukyo.or.jp>)

ポスター・パンフレットのデザイン：東京都立工芸高等学校アートクラフト科 小林真安里

5. 海外研修・結団式

日 時：平成27年7月22日（水） 17：30～18：30

会 場：ロイヤルパークホテル ザ羽田 5階ミーティングルーム

結団式：司会（全国工業高等学校長協会事務局次長）

山田 勝彦

1. 開式の言葉 国際化推進委員会委員 關 敏昭
2. 挨拶 ①全国工業高等学校長協会理事長 棟方 克夫
②国際化推進委員会委員長（神奈川県立藤沢工科高等学校長） 笹原 哲也
3. 引率者紹介 ①国際化推進委員会委員長（神奈川県立藤沢工科高等学校長） 笹原 哲也
②リスニング検定委員会委員（愛知県立豊橋工業高等学校） 松崎 克哉
③ツアー添乗員（ISS国際交流センターツアーリーダー） 鈴木 沙織
4. 参加者自己紹介 生徒20名
5. 生徒宣誓 沖縄県立浦添工業高校（インテリア科 3年） 生徒
6. 全般的な諸注意 ISS国際交流センター 糸魚川陽一
7. 閉会の言葉 国際化推進委員会委員 山寺 佳幸
8. 出席者 国際化推進委員：笹原哲也、關敏昭、山寺佳幸 引率者：松崎克哉
理事長：棟方克夫 事務局：瀧上文雄、山田勝彦
ISS：糸魚川陽一、鈴木沙織 研修参加生徒：20名

都道府県	学校名	学科	学年
北海道	釧路工業高校	電子機械	2
秋田	能代工業高校	建築・木材	3
栃木	宇都宮工業高校	環境土木	2
千葉	東総工業高校	電子機械	2
東京	東工大附属科学技術高校	科学・技術	3
東京	蔵前工業高校	機械	2
山梨	韭崎工業高校	電気	3
静岡	沼津工業高校	電子	2
愛知	碧南工業高校	環境工学	2
愛知	名南工業高校	化学工業	2
愛知	名古屋市立工芸高校	電子機械	2
愛知	名古屋工業高校	建築	3
岡山	津山工業高校	デザイン	2
香川	三豊工業高校	電子	3
愛媛	松山聖陵高校	建築	2
高知	高知工業高校	建築	3
福岡	小倉工業高校	電子機械	2
鹿児島	出水工業高校	電子機械	3
沖縄	浦添工業高校	インテリア	3
沖縄	美来工科高校	自動車工学	2

6. オリエンテーション

※万全の態勢で渡航できるように、研修内容の説明及び渡航準備や手続き、また研修先での生活等についてのオリエンテーション（事前説明会）が、旅行会社（ISS（株））により、参加者及び保護者に対して、以下の日程にて開催されました。

<場所・日時>

- ◇仙 台：6月20日（土）12：00～13：30
- ◇名古屋：6月20日（土）16：00～17：30
- ◇福 岡：6月20日（土）16：00～17：30
- ◇大 阪：6月21日（土）13：00～14：30
- ◇東 京：6月21日（土）15：00～16：30

A. オリエンテーション内容

- 1 日程、プログラムについて
- 2 ホームステイについて
- 3 パスポート、ビザについて
- 4 持ち物、服装、気候について
- 5 おこづかい等の諸費用について
- 6 海外旅行保険について
- 7 旅行ハンドブック、バッチ、ステッカー、
タグの配布
- 8 食事について
- 9 非常事態（病気、事故）
- 10 生活様式について

B. 海外旅行保険の手続きのご案内

7. 海外研修での挨拶

（1）結団式での生徒宣誓

沖縄県立浦添工業高校 生徒

今、私達がこの場にいることができるのは、企画して下さった方々、そして支援してくれたお父さん、お母さん、周りの全ての方々のお陰です。

その事に感謝し、期待に応えられるよう、ホームステイでの経験や現地の方々との交流を通して、語学とコミュニケーション能力を高めます。また、カナダの大自然に触れ合いながら、企業や博物館等の見学で外国の歴史や文化、技術を学びたいと思います。

今回参加する20名の生徒達は必然的に集まった仲間です。その出会いを大切に、助け合いながら日本工業高校生代表として、何事にも積極的に取り組み、沢山の事を吸収する事で、人間として成長しこの場に戻って来られるよう、研修する事を誓います。

（2）交流会プログラムと挨拶（概要）

<Exchange meeting of the program>

司会・進行：

東工大附属科学技術高校 生徒

- 1 Speech from Jan (The person in charge of PA)
- 2 Speech from K. I to Jan
愛知県立名南工業高校 生徒
- 3 Gift from Japanese Teacher
- 4 Speech from Japanese Teacher
- 5 Speech from M.S to PA students
東工大附属科学技術高校 生徒
- 6 Oh Canada & Kimigayo (両国の国家斉唱)
- 7 Tea Ceremony (茶道)
- 8 Calligraphy (書道)
- 9 Making Origami Together (みんなで折り紙)

First, a speech from Jan

Thank you very much for visiting us and Pacific Academy.

It's been really fun getting to know you all.

(パシフィック・アカデミーに来ていただいたこと大変感謝しています。あなた方と出会えて本当にうれしく思っています。)

I didn't get to know you as well as your new Canadian friends. I hope that you will exchange email addresses and keep in touch with them. And I hope that you can stay in touch with your home-stay as well.

(私たちは、お互いよく理解し合っていました。メールアドレスを交換してカナダの友人と連絡を取り続けてください。ホームステイを通して交流を深めてくれたらと思います。)

It's a privilege for us to have you visiting Canada and the academy. Did you have a good time?

(あなた方がカナダに来て、アカデミーを訪れてくれたことを光栄に思います。楽しい時間を過ごせましたか。)

<Yes.>

Do you want to come back?

(また来たいと思いますか。)

<Yes.>

Good, come back and visit us at Pacific Academy, come back to Canada.

We are a very big country, Japan is a very small minuscule country Canada is very big, with just a few people compared to your country.

(よかった。また私たちに会いにパシフィック・アカデミーに来てください。カナダにまた来てくださいね。カナダはたいへん大きな国です。日本は非常に小さな国ですね。カナダは確かに大きいですが、日本と比較して人

はかなり少ないです。)

There are many beautiful places for you to visit, but we think Vancouver is the best place right? Yes, we love it here but we also love having visitors.

(あなたたちが訪れるのにふさわしいきれいな場所がとても多くあります。その中でもバンクーバーは最高の場所です。私たちはここバンクーバーをとて気に入っていますし、旅行者も大歓迎です。)

Well, thank you so much, thank you for bringing students to us. Wonderful?

(先生には生徒をここまで引率して来ていただき本当に感謝しています。とても素晴らしいことです。)

<Applause>

I think you should be a teacher.

(現地スタッフのアキコさん、あなたは教員になったほうが良いと思いますよ。)

Oh, thank you, actually I'm kind of their teacher.

Are you?

(ええ、ありがとう。本当に教員のようなです。)

<Yeah.>

Oh, excellent!

We are looking forward to having your presentation this afternoon and then, having some fun together as we eat, and then tomorrow, very sad. You have to go.

But thank you very much for visiting us. We really enjoyed having you and you've been excellent, thank you.

(それでは、午後のプレゼンテーションを楽しみにしています。それから、食事を一緒にしながら楽しみましょう。そして明日は悲しいですが帰国ですね。私たちのもとを訪れていただき、大変感謝しています。私たちも立

派なあなた方のおかげで一緒に心から楽しみました。ありがとうございました。)

<Applause>

Speech from K.I to Jan

Thank you for taking care of us for 8 days. Fortunately we could enjoy studying English here. Please have a wonderful summer.

Thank you very much.

(8日間、私たちの面倒を見ていただきありがとうございます。おかげさまで私たちは楽しく英語を学ぶことができました。どうか、すばらしい夏でありますように。ありがとうございました。)

Gift from Japanese Teacher

Thank you, this is traditional Japanese "Tenugui"

(ありがとうございました。伝統的な日本の手ぬぐいを贈ります。)

Speech from Japanese Teacher

Hello, everyone. Thank you very much for having us here today.

.....

This training tour was organized by the Association of the Technical High School in Japan, which is held annually and this was the 15th tour.

These 20 students, who took part in this training course, represent technical high school students from all over Japan.

I'm sure that they gave it their 100 percent over the past 10 days.

And through the first-hand experience with their host family,

I expect that they have advanced in terms of their communication and social skills in a foreign environment.

Also by acknowledging foreign cultures and

histories and their differences to those of Japan, I hope that they will become global minded workers with respect for foreign cultures, and contribute towards technical development of the world in the future.

The students may have great expectations and at the same time, feel uncertain about their futures.

But I trust that this experience has been a great step forward for them.

Thank you.

Speech from M.S to PA students

Thank you very much for your kindness, even though we stayed here for only a short term.

(短い期間の滞在でしたが、親切にいただき本当に感謝しています。)

We really had a great time. The party game we played together was very fun.

We hope for you to make it popular with Canadian students.

(私たちは、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。一緒に行ったパーティでのゲームがとても楽しかったです。カナダの生徒の中で流行すると思います。)

Please come to Japan and hang out with us someday. Thank you again.

(どうかいつの日か日本に来てください。一緒に皆で交流しましょう。ありがとうございました。)

8. 海外研修の概要

第15回海外研修は、平成27年7月22日(水)から7月31日(金)の10日間の日程で生徒20名が参加し実施された。



日本国出国の様子

1日目 [7月22日 (水)]

17時に集合し、羽田空港国際線ターミナル隣接のロイヤルパークホテルにて結団式が行われた。全工協会理事長、国際化事業推進委員及び保護者の皆様に見送られて、定刻21時50分に離陸した。バンクーバー国際空港までの飛行時間は約9時間、時差は16時間である。

現地時間14時30分、バンクーバー国際空港に到着した。現地ツアーコーディネーターのアキコさんと合流し、バス到着までは空港で自由行動とした。現地通貨を用いての初めての買い物として飲み物を買う生徒が多かった。最低硬貨が5セントであり、1セント単位ではお釣りがもらえないこと戸惑っている生徒もいた。

16時15分、バスに乗りサレー市にあるパシフィックアカデミーに向かった。到着後は担当者であるジャン先生から出迎えの挨拶をいただき、アキコさんからの簡単なオリエンテーションを実施した。その後、それぞれのホストファミリーと対面し、ホームステイ先に向かった。



ホストファミリーと対面

2日目 [7月23日 (木)]

9時からパシフィックアカデミーに通う現地生徒5名を交えて、フリンク先生による授業を行った。まずは、First Name / Age / Number of brothers / Number of sisters / City you were born in / Favorite kind of pet animal / Favorite Activity to do / One interesting Fact about you /等の自己紹介と聞き取りを行った。また5班に分かれての校内のオリエンテーションを行った。英語を使って現地学生といかにコミュニケーションを取るかに重きを置いた授業であった。



語学研修の様子

昼食は、ホストファミリーが用意してくれたお弁当(サンドイッチと果物が基本)を食べる。男子には少し物足りないかもしれないが、日本のお弁当とは違う食文化に触れることができた。

昼食後、パシフィックアカデミーの黄色いスクールバスに乗り、ブリティッシュコロン

ビア工科大学 (BCIT) の施設見学を行った。BCIT は州立大学で多彩な教育訓練プログラムが開設され、カナダの高等教育機関として中心的な役割を果たしている。



スクールバスでの移動

ボイラー設備やスタジオ、機械加工場、自動車整備工場等を見学することができた。すべて英語での解説に苦労しながらも、生徒達は内容の理解に励んでいた。説明されている事が、日本の高校で習ったことがある内容の時には、うまく聞き取れたという達成感を味わってように見える。



BCIT の機械工場

3日目 [7月24日 (金)]

8時45分、パシフィックアカデミーに集合。今日もカナダ人の生徒と一緒に、バンクーバーの名所であるキャピラノ溪谷やスタンレーパーク、ダウンタウン散策を行った。天気は雨、気温は17℃程度と非常に寒かった。

キャピラノ溪谷では雨のため、黄色のポン

チョを着て見学する。吊り橋、木々の間の吊り橋、クリフウォークを散策した。特にメインの吊り橋は、高さ70m、長さ140mと規模が大きく、橋の上を歩くだけで大きくたわんで揺れるものであった。



キャピラノ溪谷

スタンレーパークに移動するバスの中では、カナダ人生徒とゲームをして楽しんだ。とても盛り上がり、一気に交流が深まった。スタンレーパークでは、バスの中でホストファミリーにつくってもらったランチを食べた。雨の中だが、トーテムポールの前で記念撮影を行った。

午後はダウンタウン見学を行った。ギヤスタウンでは、有名な蒸気時計を集合場所として行動範囲を決めて自由散策した。



蒸気時計

その後、バンクーバーオリンピックの聖火台へ移動。またOKギフトショップという日本人が経営している店でお土産を購入し、パシフィックアカデミーに戻った。雨のため予定が早まり学校到着後、29日に行う交流会でのスピーチ等の役割分担を決めた。

4, 5日目 [7月25日 (土), 26日 (日)]

この2日間は、生徒同士だけで行動することはできない。各ホストファミリーの予定に従って家族と一緒に過ごすことが優先される。

生徒からの報告によると、次のように休日をお過ごした。

- ショッピングセンターへ買い物。
- ステューブストン公園周辺を散策し、海産物やフィッシュアンドチップスの購入。
- バンクーバー国際空港近くのアウトレットに買い物へ。
- ホストファミリーとともにホストファミリーのサッカーチームの応援へ。
- DVD等を見たりファミリーの子どもとあそんだり。
- プールへ行く。
- ファミリーの親族とホームパーティ等。

6日目 [7月27日 (月)]

7時45分パシフィックアカデミーに集合。2日間の日程で、アメリカ・シアトルへ出発した。陸路での入国審査は、検疫や指紋採取などが厳しく緊張感もあり貴重な体験をした。バスの定期運航便やアメリカ人が優先的に入国審査を受けられるようであり、そのためカナダ出国に多くの時間がかかってしまった。

昼食は日本語の分かるスタッフが多いUWAJIMAYA (宇和島屋) フードコートを予定していたが、行程に遅れがあったため持ち帰りのランチを購入しバスの中で食べた。アメリカサイズの量に驚いている生徒が多かった。

セーフコ・フィールドでは、グラウンドで記念撮影、オーナーズルームや報道観戦席を見学した。球場の大きさは、まさに圧巻である。イチロー選手や佐々木選手、岩隈選手などの

日本人選手が所属していた球場であり、特にイチロー選手の活躍していた写真が至る所に飾ってあったのが印象的だった。



セーフコ・フィールド



セーフコ・フィールドのグラウンド内

航空博物館では、2班に分かれて、レオナルドダビンチが構想した飛行機からライト兄弟、ボーイング社が作った飛行機などの歴史を知ることができた。また展示されているコンコルドやエアフォースワンの中を見学することもできた。



航空博物館

この日の宿泊先は、シアトル近郊のレッドライオンホテルである。ホテルの夕食では多くの生徒が大きなステーキを食べていた。その後、交流会の内容・進行の仕方やホテル内での注意事項を確認した。

7日目 [7月28日 (火)]

シアトル観光としてシアトルの名所であるパイクプレイスにあるスターバックス1号店でコーヒーを飲んだり買い物をしたりした。

その後向かったボーイング社のエバレット工場では、旅客機の製造ラインを見学した。ここでは747型、777型、787型の3種類が製造されており、特にドリームライナーと呼ばれる787型機は日本からカナダへ来るのに乗ってきた旅客機であった。国際共同事業で開発されたもので、特に炭素繊維複合材の胴体は日本製であり、日本で聞いたことのある企業の名前が出るなど、生徒は関心を持っていた。残念なことに工場内での写真撮影は禁止されていた。

その後、昨日来た道に戻ってパシフィックアカデミーまで移動した。アメリカへの入国と比べて、カナダへの入国は検疫等が厳しくなく、また短時間であったのも両国の違いが大きく出ていると感じた。

8日目 [7月29日 (水)]

8時45分パシフィックアカデミーに集合し、午前中は、グランビルアイランドにあるエミリーカール芸術大学を見学した。絵画、陶芸、服飾、デザイン、写真など様々な専攻をもつ大学である。また大学内には学生による掲示物などが多くあり、芸術のセンスに圧倒された。

パシフィックアカデミーに戻りホストファミリーに作ってもらったランチを食べた。昼休みには、体育館でカナダ人生徒たちとバスケットボールやバレーボールをして交流を深めた。



現地学生とバスケットボール

午後は、ホストファミリーへの[Thank you]カードの製作をした。いままで英語会話に重点を置いてきたが、ここに来て英語での文章作成に頭を悩ませる生徒が多くいた。感謝の気持ちがホストファミリーに伝わるよう心を込めて作っていた。

15時からはカナダ人生徒との交流会である。生徒たちはカナダと日本の国歌を披露した後、「抹茶をたてる」「書道でカナダ人学生の名前を書く」「折り紙、竹とんぼ、紙風船で遊ぶ」など日本の文化を紹介した。



交流会の風景

そして16時から、パシフィックアカデミーの中庭にホストファミリーを招いてフェアウェルパーティを行った。

ジャン先生が焼いてくれたフランクフルトをパンに挟んでホットドッグを作り、ホストファミリーやカナダ人生徒と一緒に食べて交流をした。その後ジャン先生から語学研修の修了証が一人ずつ手渡された。また日本の生徒代表がホストファミリーとパシフィックア

カデミーの先生と生徒に向けてお礼のスピーチを行った。



フェアウェルパーティ

9, 10日目 [7月30日 (木), 31日 (金)]

8時45分、パシフィックアカデミーに集合し帰国の途に就く。スーツケースの重さを気にする生徒が多かった。空港までの途中、グランビルアイランドにあるパブリックマーケットや海辺を見学し、昼食のためリッチモンドセンターモールに立ち寄り、16時20分NH115便でバンクーバーを出発した。



パブリックマーケット

来たときは逆に日本との時差によって、カナダの夕方に出発して9時間後には、日本時間の夕方に到着する予定である。

日本時間18時、羽田空港国際線ターミナルに到着。簡単な解散式を行ったが、生徒は別れを惜しみ、いつまでもその場を離れようとはしなかった。

彼らがこの10日間の研修を一緒に過ごすことによって育んだ友情は、日本全国に分かれていったとしても、今後も続いて行くであろう予感を感じた。



バンクーバー空港

9. 生徒の報告

I WAS HAPPY

北海道釧路工業高等学校
電子機械科 2年 生徒

1. Home stay

僕は、ホームステイの家族が迎えに来たときに驚いてしまったことがありました。それは、ホストファザーが車椅子に乗っている人だったことです。いざ家まで向かうとなった時に、どうやって運転するのかと疑問に思いながら乗車しました。すると驚いたことに、木の棒でアクセルとブレーキを慣れた手つきで操作し運転していました。

車を走らせているときに、ホストファザーが「ピザは好き？」と聞いてきたので、「もちろん！」と返事をしました。ピザ屋に着くと、ホストファミリーの子供がピザを買ってきてくれました。

家に着くと他のファミリーがいて、僕たちが聞き取りやすい英語を使い、暖かく迎えてくれました。買ってきたピザをみんなで食べながら会話をしていると、ホストファザーがある英単語を教えてくださいました。それは、「same」です。意味的には「同じ」という意味で間違えではないと思いますが、例えば、「僕はジュースが飲みたい」と誰かが言ったときに、「same」と言うと言語で会話ができるということで、とても勉強になりました。



ホストファミリーと記念撮影

2. バンクーバー散策

バンクーバー散策では現地のカナディアン生徒とともに、スクールバスに乗りながら、スタンレーパーク、キャピラノ吊橋、ダウンタウンなどに行きました。バスの中では工業高校独特のノリでカナディアン生徒とともにゲームをしながら、移動時間を楽しみました。キャピラノ吊橋では、カナダの自然の中にある吊橋をみんなで渡りました。途中、ショッピングもして、楽しい時間となりました。

そのあと、バンクーバーの聖火台で記念写真を撮り、ダウンタウンでショッピングをして、バンクーバーの散策は終わりました。



聖火台にて

3. ボーイング社見学

ボーイング社では、飛行機が出来るまでの過程や、それに関わる設備などを、ガイドさんが聞き取りにくい本場の英語で説明していたので、聞き取るのに苦労しました。

工場自体の立地面積は広く、今でもあの衝撃は覚えています。普段乗っている飛行機の製作過程を見て、航空機製作技術の素晴らしさを知りました。

4. シアトル観光

シアトルでは、ボーイング社の見学に続き市内観光などをしました。シアトルは、海がとても綺麗でした。ダウンタウンに行くと、たくさんの賑わいが溢れる店やカフェなど、the アメリカという感じがしました。路上で音楽を演奏したり、公園のベンチで昼寝をしたり、とても素敵な街だなと思いました。



シアトルにて

5. 感想

今回 10 日間という短い期間でしたが、自分自身かなり成長したと思います。英語のスキルアップももちろんですが、日本との違いも、視点を変えて考えてみると、良いところも悪いところも見つかってきました。それはそれで良いことだと、僕は思っています。ですから、今回僕はこのような人生の大きな思い出に残るような経験ができて大変嬉しく思います。費用を出してくれた親、今回の研修を紹介してくれた学校の先生、他にも僕を支えてくれた人はたくさんいると思います。今回の研修を糧にして、将来に必ずいかしていきたいと思います。また、みんなに会えることを楽しみにしています。

See you again !

海外研修に参加して

秋田県立能代工業高等学校
建築・木材科 3年 生徒

1. ホームステイ

私は初めての海外研修と同時に、10 日間という長期のホームステイと言う貴重な体験をすることが出来ました。そのこともあり、緊張と不安でいっぱいでした。そんな中ホームステイの家族は私を優しく受け入れてくれました。私は英語が苦手な事になかなか答えることができずとまどっていると、違う言い方をしてくれたり、ゆっくり話してく

れたりしてとても助かりました。また、一緒にホームステイをした友達も私が答えに困っていると、横から日本語で教えてくれたり、答え方を教えてくれたりしたので友達にも感謝でいっぱいです。そのおかげで、休日をむかえる頃には多少は聞き取れるようになり、簡単なあいさつはできるようになっていました。

更に、異国文化に触れて思ったことは、日本とは全然文化が違うということです。トイレやシャワー、食事など日本で当たり前のことが違う、これは異国文化を楽しむことにも繋がりました。

そして、海外研修に向けて立てた目標である「建築様式を見る」ことでは、ホームステイをした家の構造や生活様式を知ることが出来ました。高層マンションの 18 階ということもあり、景色も良かったです。この時期カナダは高緯度のため夏は夜 9 時頃まで明るく、逆に冬は日が短い。そのため、家の中に鏡を多く取り入れており、家の奥にまで光が届く造りになっていました。学校で学んだ採光の知識を肌で感じる事が出来ました。

ホームステイの家族には私の将来に生かせることを多く教えてもらったので感謝の気持ちでいっぱいです。



ホストファミリーと一緒に！

2. バンクーバー散策

バンクーバー散策はあいにくの雨から始まりました。それでも、カナディアン生徒と一緒にスクールバスでキャピラノ吊り橋やスタンレイパーク、ギヤスタウン、オリンピック

ク聖火台、日本人が経営するカナダのお土産屋さんなどに行きました。

キャピラノ吊り橋では、雨の中渡ることで恐怖心を倍増させました。スタンレイパークでは、昼食を公園の中で食べる予定が雨のせいもあり、スクールバスの中でとなりました。ですが、バスから見る公園の景色は昼食を楽しくさせました。バスでの移動の時間は、ゲームでカナディアン生徒たちとも盛り上がり、楽しいバス移動となりました。



スタンレイパークでみんなと！

3. 日本にないものを見る

カナダで一番大きい工業系の大学を見学しました。BCIT (British Columbia Institute of Technology) では最先端の技術を学び、それを生かしていることが一目でわかりました。今回は機械系の学科を見ましたが、残念ながら私の専攻である建築系は見学できませんでした。また、車の駐車場の屋根にソーラーパネルを取り付け、電気自動車に充電しているのを見て、日中の光を有効に活用しながら、車の中に光を当てないと工夫が各所でみられ、工業のものづくりに不可欠な資源の有効活用の状況を海外で改めて学びました。そんな施設がある一方で、生徒数が多いにもかかわらず、一人一人に手厚くケアをしていることもわかり、BCITの人気の高さやすごさを感じました。

次に飛行機博物館に行きました。私は飛行機にはあまり興味がありませんでしたが、飛

行機の始まりや世界一速い飛行機、戦闘機の変化などを見ていると、とても面白かったです。

最後にボーイング社を見学しました。ボーイング社では撮影が一切禁止で残念でしたが、私たちが乗ってきた B787 の製作や、新型の B777 などを目の前で見られたことには感動しました。私たちが乗る飛行機は、このようにして作られているとわかったと、とても安心して乗ることができました。ボーイング社はバスで移動が必要なほどとても広く、また私たち以外の観光客も多く、それほど人気のある場所だと思いました。

4. 市内観光

カナダでの市内観光で面白かったことは、2つありました。

1つ目は、ショッピングです。ショッピングでは日本での馴染みのメーカー品のもものがとても安くビックリしました。店員さんもお店に入ると笑顔でハローと話かけてくれたり、サイズを探しているときささず聞いてきてくれたりしました。この点は日本に負けていないと思いました。

2つ目は、カナダのお寿司屋さんに行ったことです。日本のお寿司と違い刺身に辛いソースが掛かっている、日本では見られない光景を目にして楽しかったです。

アメリカでの市内観光は、スターバックス1号店やセフィコフィールドに行きました。

スターバックス1号店は海の見晴らしがよいところにあり、最高の景色でした。スターバックス1号店のマークはみなさんが知っているマークと違い少し変わったものでした。1号店だけあって人も多く、30分くらい並んだのを覚えています。

セフィコフィールドでは日本人のガイドさんが細かく説明してくれて、普段入れないベンチやVIP席にも座れて感激しました。いつか、自分でお金を払ってVIP席で野球を見たいです。



セフィコフィールドでみんなと！

5. 感想

私は今回の海外研修で多くのことを学びました。初めて日本語が伝わらない環境に行きホームステイをしたことは、今後自分の人生にとって大きな糧になると思います。私がこの研修に行くにあたって立てた目標もきっちりできたと思います。

書きたいことは山ほどあります。それでも、この研修で一番学んだことは「ありがとう」と思う心です。研修費を出してくれた家族、海外研修を後押ししてくれた学校の先生方、引率して下さったガイドさんや先生方、仲良くしてくれたカナディアンの生徒たち、色々お世話をしてくれたホームステイの家族のみなさん、そして10日間一緒に学んだ全国20人のみなさん、本当にありがとうございました。とても楽しかったです。

私を変えてくれた海外研修

栃木県立宇都宮工業高等学校
環境土木科 2年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

私のホームステイ先のファミリーは、マザー、ファザー、17歳の娘さんと3歳の息子さんとペットの犬と猫と亀でした。ホストファミリーは私を温かく迎えてくれました。英語に慣れていないこともあり聞き取れなかったり、上手く自分の意思を伝えることができなかったりと困惑してしまいました。それと同時に、

日本と違った生活様式にもとても戸惑いを感じました。

ホストファミリーと過ごす休日はとても不安で緊張しました。けれどそんな思いが吹き飛ぶほど充実した休日になりました。土曜日は、近くのデパートにお買い物に行き、ボーリングに行き、ホームセンターに行きました。カナダのボーリングの球は日本の球と違い小さくて驚きました。日曜日には、ゲームセンターに連れて行ってくれました。日本とは全然違う遊び方だったので面白かったです。

また、ホームステイ最後の夜には花火大会と一緒に行きました。花火はものすごく綺麗でした。最終日の朝にホストマザーからもらったプレゼントにはとても感動して涙ができました。



ホストマザーと花火大会にて

2. バンクーバー散策

カナダの学生と一緒にキャピラノ吊橋とスタンレーパーク、ギヤスタウンに行きました。あいにくの雨でとても寒くて夏とは思えぬ気温でした。

キャピラノ吊橋は楽しみにしていたので行けて感動しました。吊橋を歩くだけでかなり揺れるので最初は怖かったけど楽しかったです。

スタンレーパークに立ち寄りましたが雨の為外には出ないでバスの中で食べました。外で食べたかったなと思いました。お昼はホストマザーが用意してくれたサンドイッチやフルーツなどで日本とはかなり違いましたが美

味しかったです。各家庭によっても違いがあり面白かったです。

その後ギヤスタウンという所に行きました。オシャレな街並みがとても印象に残っています。

また、バンクーバーオリンピックで使用された聖火台も見ることができ良かったです。



聖火台の前で

3. 企業・学校見学

学校見学では、BCITや芸術系の大学に行きました。

BCITの見学はボイラー室やPC室を案内してもらい説明を受けました。説明は全て英語のため苦しみましたが単語と単語を聞き取ってなんとなく理解しようと思いました。難しいかもしれないけどここで学びたいという気持ちが湧きました。

企業見学では、シアトルにあるボーイング社に行きました。ここでは写真撮影が禁止だったので撮ることができなくて残念でした。飛行機を造っている過程なんてなかなか見られるものではないので本当に貴重だなと感じました。ボーイング社はとにかく広くて唾然としてしまいました。説明はもちろん英語でした。早く聞き取れませんでした。

4. 市内観光

アメリカの入国審査はとても厳しいと聞いていたので不安と緊張がものすごかったです。皆何も問題なく入国できたので本当に良かったです。

シアトル観光では最初にセフィコフィールド

ドに向かいました。あまり野球に詳しくない私でも十分楽しめました。ベンチの所で写真を撮ったり別の場所で撮ったり、とにかくカメラから手が放せませんでした。球場は本当にきれいでした。感動しっぱなしでした。案内して下さった方は日本人でした。それなので気兼ねなく質問をすることができました。セフィコフィールドの見学はシアトル観光の中で一番楽しみにしていたのでテンションが上がりました。

航空博物館は大きな模型がたくさん並んで飾られていました。外に展示されていた大統領が乗った航空機の中に入りました。すごく贅沢な感じが入った瞬間にわかりました。

スターバックス1号店も行きました。ここでは限定のマグカップやタンブラーを買いました。

カナダやアメリカの気候は、日差しがとても強かったですが、湿気がなくて過ごしやすかったです。



セフィコフィールドで皆で記念写真

5. 感想

今回の海外研修が自分にとって初めての海外だったので不安でいっぱいでした。でもそんな気持ちもあっという間になりました。決して長いとはいえない時の中で様々な体験をし、学び、本当に充実した日々を送ることができたと思います。

また、私は海外に来て改めて日本の良さに気付くことができました。文化の違いに戸惑ったり、驚いたり、興味を持ったりと感動が

尽きませんでした。

私はこの研修で自分に足りないものや自分にとって自信となるものを見つけることができました。特に、自分の英語力の無さに気付かされたので今後も英語力をしっかり身につけて、将来海外で活躍できる工業人になれるよう頑張りたいと思います。

一緒に参加した全国の工業高校生のみんなと仲良くなれたこと本当に嬉しく思っています。バスの中ではゲームをやって盛り上がったりして楽しかったです。カナダの学生とも連絡先を交換することができました。この出会いを心から大切にしたいと思います。

この研修の為に協力してくれた両親や先生に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

Thank you very much.

And thank you my friends.

LIFE IS ADVENTUR

千葉県立東総工業高等学校
電子機械科 2年 生徒

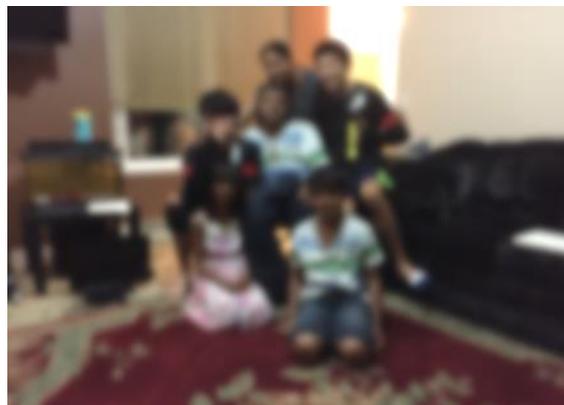
海外研修の応募用紙を初めて手にしたとき、正直、「こんな自分には海外なんて関係ないし」って思っていました。父や友人の勧めの流れに乗って「行ってみるか」と応募したら本当に行くことになっていた、というのがすべての始まりでした。帰国して数日が立ち、改めて行ってよかった、断らなくて本当に良かったと薦めてくれたみんなに感謝しています。

1. ホームステイ

空港を出て初めてホストファミリーに会ったときは、サングラスをしたインド系のおじさんで、とても怖い人に見えたのですが、気軽に、やさしく、わかりやすい単語で話しかけてくれてホッとしました。また、食事について、「毎日カレーなのだろうな」と、覚悟していたのですが、そんなことはなく、いろいろなメニューを美味しくいただきました。

土曜日、日曜日には、ファミリーみんなで

ショッピングやプール、ビーチ、インドの人が集まるお寺などに行きました。最後の日にはサプライズプレゼントも頂き、とても楽しい毎日でした。



With our Host families

2. バンクーバー散策

バスの中でやったゲームは最高に盛り上がりました。言葉を超えて、いっきにカナダ人学生との距離が無くなりました。バンクーバーの道路はとても広く、車線も多くて驚きました。みんなスピードを出しているのですが道路を渡ろうとしている人を見つけると必ず止まる事にも感心しました。また、街中の狭い道でも、大型トラックやバスがすり抜けるように走り、おおらかなのか、せっかちなのか、日本ではあまり見ない光景で不思議でした。

バンクーバーの他にも、カナダ人学生とスタンレーパーク、キャピラノ吊橋、に行きました。この日は、雨で残念でしたがとても楽しい散策になりました。



At the Capilano suspension bridge

3. ボーイング社工場、博物館、大学見学

ボーイング社では工場や格納庫の飛行機を見学しました。大きな飛行機を飛ばすために、各部門のたくさんの人が部品を作り、組み立てる工程を見て、スケールの大きさに感動しました。

航空博物館ではライト兄弟の作った人類初の飛行機のレプリカなどを見学しました。

BCIT は素晴らしい設備で規模も大きく、警察の鑑識にも技術協力するすごい大学でした。

4. カナダ、アメリカ市内観光

バンクーバーとシアトルの市内観光では主にショッピングをしました。

シアトルでは、ボーイング社見学、スターバックス1号店、セーフコフィールドなどに行きました。市内から見える海や湖などのさまざまな景色はとてもきれいでした。日本語の話せる店員さんがいらっしやって、硬貨の種類を教えていただきながらの買い物でした。スターバックス1号店の前で生演奏はともいい雰囲気でした。



At the Safeco field

5. 感想

この海外研修では、日本で初めて知り合った友達と、現地で英語を使って会話するという難題をみんなで乗り越え、大変だったこと、楽しかったこと、悲しかったことをカナダのホストファミリーや同行してくれたカナダ人学生と共有、共感でき、日常では経験できない、自分にとって最大のADVENTURでした。

海外研修に関わっていただいた日本の先生方、アカデミーの先生方、生徒のみんな、ホストファミリーズ、ありがとうございました。

そして、次の新たなADVENTURへ。

海外研修報告書

東京工業大学附属科学技術高等学校
科学・技術科 3年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

人生初のホームステイ、私はドキドキというよりむしろワクワクしていました。私のホームステイ先はEddieさんとNatyさんという老夫婦でした。初めて会ったときから、とても優しく、気さくに話しかけていただき、これからのホームステイがどんな素晴らしいものになるのか想像もつかないほどの心が躍った感覚を今でも覚えています。「これからは私たちをお父さんのように思ってえどさんと呼んでくれ！」そう言われ、すぐに距離も縮まり、本当に両親のようによくしてくださいました。



えどさんとKくんとinパーティー

えどさんたちは大きなマンションに住んでおり、ベランダから見える景色やサリーの気候と日本の気候について、日本人をどのように思っているのかなど、たくさんのことを、会話を通じて教えてくださいました。一緒にテレビ番組をみたり、ポーカーをおしえてもらったり、マジックを披露したりもしました。休日には、ショッピングやボーリング、友達の誕生日パーティー等に連れて行ってくださいました。私はこのホームステイで誰よりも

有意義な時間を過ごした自信があります。この充実した日々を送らせてくれたえどさんとなていさんには深く感謝しています。

2. バンクーバー

私がバンクーバー散策で特に印象に残っているのは、街並みが日本と異なっているという点です。カナダにはあまり高い建物がいないため、空が開けて見えました。これは日本に比べ土地が広いからだと考えられます。また、居住区域と商業区域がはっきりと分かれていたように感じました。そのためにダウンタウンと郊外、それぞれに存在する建物に統一感が生まれ、オシャレな街並みを形作っていたのだと考えられます。

キャピラノサスペンションブリッジやスタンレーパークでは日本では味わえないような、広大な自然を堪能することができました。雨が降ってしまっていたのがとても残念でしたが、雨の中のつり橋など、一味違った楽しみ方をすることができました。



キャピラノサスペンションブリッジにて

3. 施設見学

今回の海外研修で私にとって最も刺激を与えたのは、この施設見学です。私はもともと航空宇宙に興味があり、その方面の大学に進学しようと考えていました。そのためボーイング社見学や、BCIT見学は私の将来をグローバルな視点から見つめさせ、より明確にするいい機会となりました。先端的な技術の説明を英語で聞くことができ、とても恵まれ

た環境に置かれていることを実感しました。

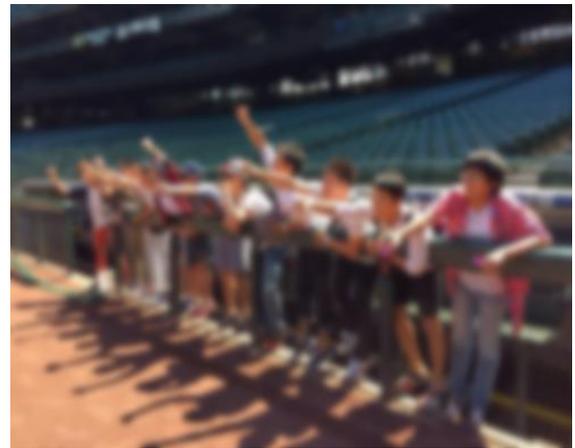
特に思い出されることは、ボーイング社でのボーイング787の機体にカーボンファイバーが使われており、それらの一部が日本の技術である、という点です。日本の技術の世界での活躍を目の当たりにし世界からみた日本の良さを確認できたいい機会でした。

4. 市内観光

5日目にはシアトルに行きました。シアトルでは、シアトルマリナーズの本拠地セフィコフィールドやスターバックスコーヒー1号店などを見学しました。

セフィコフィールドではメジャーの歴史やイチロー選手、岩隈久志選手の活躍に触れ、ここでも世界の中の日本を感じる事が出来ました。

スターバックスコーヒーは日本でも有名な店なので、スターバックスのルーツをたどることで、逆に日本の中の世界を感じました。



セフィコフィールドにて

5. 感想

まず、この研修をこんなにも有意義で素晴らしい経験にできたのは、全国工業高等学校校長協会の方々、ISSの方々、パシフィックアカデミーの皆さん、ホームステイ先の家族の方々、家族、そしてこの研修をともにした仲間のおかげであると思います。研修に携わったすべての方に感謝しています。

今回の経験は、私の中で最も輝いていた9日間といっても過言ではありません。それを

ただの楽しかった思い出とするか、将来や夢への糧とするかは、私たち次第であると思います。是非とも後者に活かせるように、いや、絶対に活かすという意気込みでこれからの生活を送っていきたいと思います。

自分を変えてくれた 10 日間

東京都立蔵前工業高等学校
機械科 2年 生徒

1. ホストファミリー

父子家庭という出発前に知らされていた情報とは違い、女性の方と女の子が迎えに来て少しのパニックから僕のホームステイは始まりました。しかし、カタコトの英語で自己紹介をして手を伸ばすと笑顔でしっかり握手をしてくれました。PA校からは車で20分くらいかかり家について玄関に入ると、かなり大きく威圧感のあるホストファザーが立っていて少し怖かったです。でも自己紹介をすると、笑って”Hello”と伝えてくれました。

僕のファミリーはフィジー系のファミリーで7歳のジャスミンと11歳のセルウィンと両親の4人家族でした。ジャスミンとセルウィンとは毎日帰ってきてから家の前で近所のゾーイ、アビー、ハナ、ジョセフ、とサッカーやフットボール、ホッケー、バスケットなど本当にいろいろな遊びをしました。完全に暗くなるのが夜の10時頃なので夜ごはんを食べてから外に遊びに行きました。この外で遊ぶ時間が一番楽しかったです。



ホストファミリー

ファミリーと過ごす2日間は、1日目はショッピングモールやスーパーセンターに連れていってもらいました。カナダでは、商品が床に散らばっていたり、明らかに別の所にあった商品があったりと少し驚きました。2日目は、ホストファザーのサッカーの試合を見に行きました。地域のサッカーチームの試合なのですが試合中乱闘などがあり日本の社会人サッカーとは、本気度が違うなと思いました。またカナダ行ってからカナダの人はスポーツが大好きなのだと感じました。テレビをつければスポーツの試合をやっているし、日本とはだいぶ違うなと感じました。

ホームステイ最後の夜には、ジャスミンから手紙をもらい、帰る日の朝にはセルウィンに”Goodbye”と言うと”No!see you”と伝えてくれたことがとても嬉しかったです。

2. バンクーバー散策

バンクーバー散策では、PA校の学生と一緒にキャピラノ吊橋、ギャスタウン、スタンレーパークなどに行きました。キャピラノ吊橋は、かなり揺れたし寒かったです。ギャスタウンでは、洋風の家が立ち並び美しい景観が広がっていました。スタンレーパークでは、雨が降っていたので昼食はバスの中で食べ、記念撮影をただけだったのでとても残念でした。



キャピラノ吊橋

3. 航空博物館

シアトルにある航空博物館では飛行機に関する歴史、最近の飛行機のことを学びました。飛行機が作られた当時の木しか削れない旋盤や、ケネディ大統領が使っていた専用機などがとても印象に残っています。

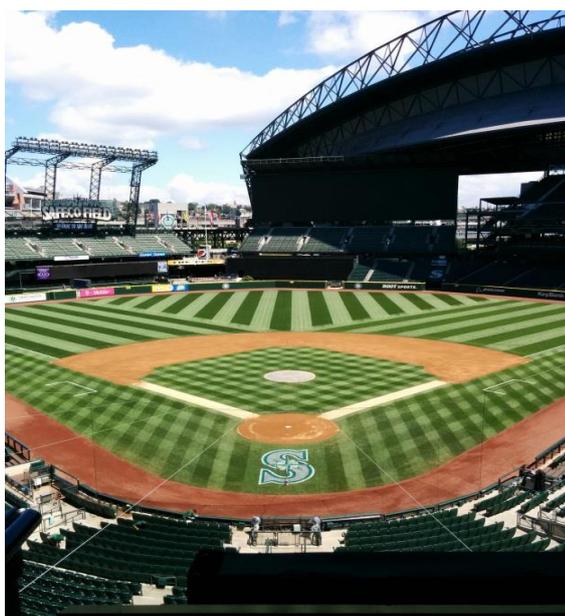
4. シアトル

シアトルではボーイング社の見学やセーフコフィールド、スターバックス1号店などに行きました。

ボーイング社では敷地内の移動はバスでの移動で、敷地の広大さを感じました。工場内は写真撮影が禁止だったことが少し残念でしたが工場ではボーイング787の作業風景を上から見ることができ、自分たちがカナダに来るときに乗っていたのがボーイング787ということもあり興味を持って聞くことが出来ました。

セーフコフィールドでは、実際に選手たちが使っているベンチや、VIPルームなど普段は絶対に入れないところに入れて、とても貴重な体験をしました。

スターバックス1号店では、周りの町がとてもキレイで街中では音楽が流れ、海も近くにあり本当に行ってよかったと思います。



セーフコフィールド

5. 感想

初日は初めてのホームステイということもあり不安でしたが、時間がたつにつれ不安もなくなり楽しみだけが増えていきました。また言葉が通じない環境の中で過ごしたことで学んだこともたくさんありました。異文化に触れながら生活できたことも貴重でしたが日本全国に友達ができたことも自分にとっては同じくらい貴重でこの研修のいいところだと思います。

今回の研修で日本の良さ、それぞれの国の良さ、自分たちが普段どのくらい便利な生活をしてきたかを実感することが出来ました。

あっという間の10日間でしたがとても充実していて有意義な10日間でした。今回引率して下さった先生や現地スタッフの方、この研修を企画して下さった全国工業高等学校長協会の方々、本当にありがとうございました。

Canada&USA MY BEST MEMORY

山梨県立韮崎工業高等学校
電気科 3年 生徒

1. Home stay

ホームステイ先のファザーが迎えに来てくれたとき、1番目立っていたのがホストファザーでした。ホストファザーは麦わら帽子にサングラスでタンクトップを着ているちょっと見た目は怖く感じました。



My Host Family

しかし、家に着くとホストファミリーもマザーもとても優しく、僕は優しくて温かい家族に巡り合えたと思いました。英語の慣れていない僕たちにも優しく分かるように話してくれ、理解することも出来ました。マザーはフィリピン系だったのでタイ米でしたが、お米が食べられました。また、この短いホームステイの間に2度もBBQとパーティーがあり、とても楽しかったです。

2. Vancouver 散策

バンクーバーでは現地のカナディアン生徒と一緒に黄色いスクールバスでギヤスタウンやスタンレーパーク、キャピラノ吊橋などを見て回りました、少し雨が降っていたのですが、バスの中ではみんなで盛り上がっていたので、天気など気にならなかったです。

バンクーバーは海や山があり、町は都会的で自然も感じながらいい景色も見ることができました。



キャピラノ吊橋

3. 会社・大学見学

カナダでは BCIT (British Columbia Institute of Technology) という大学を見学しました。BCITは400もの教育・訓練のプログラムがある学校で、また多くの海外留学生の通う多文化キャンパスだと説明を受けました。もう1つの大学は美術系の大学で校舎の中や外は色々なペイントでカラフルになっていて、日本の美術系大学とは全く違う様子でした。

会社見学は世界中で飛んでいる旅客機を作っているボーイング社の工場に行きました、工場内は写真撮影禁止で厳重な警備の中、工場内に入りました。工場は飛行機が4機並ぶくらい広くて、みんな驚いていました。工場内を案内してくれる方の説明はもちろん英語で、途中、難しい単語は分からないので先生に聞いて内容を理解することも出来ました。

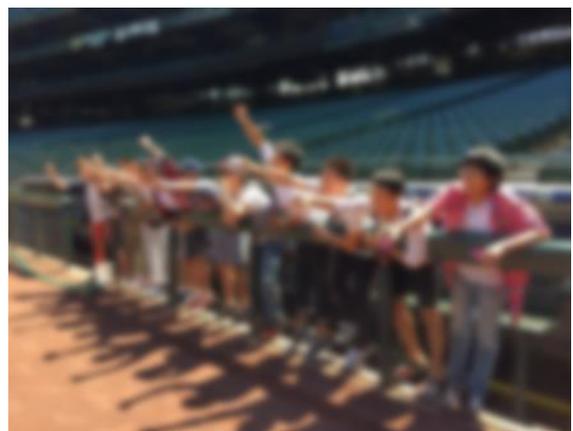
航空博物館では、飛行機の様々な歴史を学ぶことができました。レオナルド・ダ・ヴィンチの考えた飛行機やライト兄弟、世界大戦中の戦闘機など色々な時代の飛行機を見ることができ、この時のガイドさんは飛行機の歴史や説明を詳しく話してくれました。

ボーイング社では、最新のB787型機を作る所を見ることができ、作る所を見ると飛行機に対して怖いということが無くなり信頼が持てました。

4. Sightseeing (USA)

今回の研修で1番楽しみだったのが、シアトル観光です。初のアメリカ入国で、入国審査はみんな緊張していました、指紋を取り、無事入国完了。

そして、いよいよ、セフィコフィールドへ到着。イチローが3年前まで居たシアトル・マリナーズの本拠地で球場内に入ることができました、芝生は夕方から試合があるらしく入ってはいけなかったのですが、選手がいつも見ている風景を見ることができてよかったです。また、VIPルームも見学をしてお金持ちの気分を味わうことも出来ました。



シアトルでは他にもスターバックス1号店にも行きました、さすが1号店だけあって行列に並ぶこと30分やっとスターバックスコーヒーにたどり着けました、1号店は豆も他の店とは違い美味しいコーヒーでした。限定タンブラーも買いすぎてしまいました。

5. 感想

今回の海外研修を通して多くのことを学びました。特に英語は自分自身に英語力の無さを改めて気づかされる研修でした。ファミリーは留学生に慣れているので英語をゆっくり話してくれるのですが、一般の方と話をすると英語の話すスピードが速く、聞き取りに初めは戸惑い聞き返すことが多くありました。

しかし、時間が経つにつれて言っている事も少しは分かるようになりました。これからの日本はグローバル化が進み英語が必要になってくると思います、その為にもグローバル化に対応できる人になれるように頑張りたいと思います。

また、今回一緒に参加した全国の工業高校の生徒とは短い時間だったのですが、楽しくて多くの友だちも出来ました。

今回、主催していただいた全国工業高等学校長協会様をはじめとする引率の先生方、現地の搭乗員さん、本当にありがとうございました。貴重な体験ができ、大変感謝しています。

海外研修に参加して

静岡県立沼津工業高等学校
電子科 2年 生徒

1. Homestay

僕たちとホストファミリーの最初の出会いは不安だらけでした。そりゃあ、誰だって最初は緊張しています。他の生徒さんはぞくぞくとやってくるホストファミリーと挨拶を交わし、その日仲良くなった友達がどんどん減っていくのだからより緊張していきました。

そして、結局僕たちは、最後に呼ばれまし

た。もう不安で、破裂しそうでした。AKIKOさんに紹介された僕達のホストファミリーは、とても優しく声をかけてくれました。そして、交わした握手に力が入ってしまいました。

ホストファミリーは「道に迷ってしまって遅れて申し訳ない」といってくれて、英語が聞き取れた喜びと、ホストファミリーの優しさに少し感動した自分がいました。

ホストファミリーはとても優しくしてくれました。休日には大型ショッピングモールに連れて行ってもらったり、次の日には、ホストファザーのサッカーチームの試合を見せてもらったりしました。その試合は大きな試合で結果は2対2でしたが、総合的にホストファザーのチームが地元で優勝しました。そんな試合に立ち会うことができ本当によかったです。

二人の子供たちとは、近所の4人ぐらいの子供たちと共に、ほぼ毎日、サッカー、おにごっこみたいなもの、ジェンガ、競走、TVゲーム、トランプ、ホッケーなど、たくさん遊びました。長いときは、こちらは日が長いので夜10時ぐらいまで、外で遊んだときもありました。最初は何をやるのかわからないので子供たちに説明してもらおうのですが、理解できないことが多々あり、ジェスチャーなどでなんとか理解できました。



一緒に遊んだ子供たちと

今回の研修においてホストファミリーから一番多くのことを学んだとおもいます。それはいいことばかりじゃないけれど、それによ

ってわかる日本のよさと、カナダのよさだと思いました。

2. Vancouver

バンクーバー散策では、現地の学生さんといろいろな名所をまわりました。

BCIT では、設備にはとても驚きました。しかし、説明の英語がなかなか聞き取れなくて、残念というよりも悔しいと思いました。

キャピラノ吊り橋はあいにくの雨でしたが、とてもいい景色で自然を体いっぱいに感じました。吊り橋は長く、高く、よく揺れるのでとてもスリリングでした。

そして、なにより、カナディアン生徒さんとは必要以上に仲良くなったと思います。特にバスの中でのリズムゲームはとても盛り上がり、とにかくはしゃいでとてもいい交流ができたと思います。



キャピラノ吊り橋にて

3. ボーイング社工場

ボーイングの工場はとても広く、移動にバスを使うほどでした。こちらもちろん説明は英語なので聞き取れたり取れなかったりして、とてもむずがゆい思いをしました。一切の撮影が禁止だったのですが、飛行機の製造過程なんて、めったに見られるものではないので、この目に焼き付けてきました。

4. 市内観光

再び入国審査をして、ついたのはアメリカ、シアトルでした。最初に向かったのはセーフ

コフィールド。予想以上の大きさだけでなく、トップレベルの選手が100%のパフォーマンスができるようにしっかり管理された設備とシステムで、それを取材する記者のことも考えた構造など、とても考えられていてすごいと思いました。その後ホテルに泊まったが、サッカーができなくてムズムズした。

2日目はまずスターバックス1号店に行きました。その長蛇の列に驚きましたが、自分は友達に買い物を頼み、少しフリマ?のような朝の市場を見て回りました。ネックレスやペンダント、野菜や魚といった様々なものが売っていました。

ただ町やお店を見て回るだけでも、風景もすれ違う人も新鮮で、セブンイレブンなど日本でも見られるものをみると安心するレベルでした。だからこその研修がとてもいい経験になったと思いました。



セーフコフィールドにて

5. 感想

本当にこの10日間は自分の人生にいい意味で大きな変化を与えてくれたと思います。

ホストファミリーはとても優しく、たくさんのお話を経験させてもらい感謝しきれません。だからお別れがとてもつらかったです。

英語が聞き取れず悔しい思いをしました。もうそんな思いをしないため、もっと臆せず話しかけていき、友達などを増やせるようにしたいです。ホストファミリーやカナディアンの生徒さんとの出会いと築いた関係は今後の人生に必要になると思いますし、なにより

大切にしたいです。

一緒にいった研修メンバー、先生方、AKIKOさん、カナディアン生徒さん、ホストファミリー、みなさんほんとうにありがとうございました。

初めての海外研修を終えて

愛知県立碧南工業高等学校
環境工学科 2年 生徒

1 Home stay

ホストファミリーはとても優しく私のことを迎え入れてくれました。初めは緊張して英語が出てこなかったり、聞き取れなかったりと不安に思っていた事がたくさん起こりました。ですが、私が伝えようとするカタコトの英語を一生懸命理解しようとしてくれる姿がとても嬉しかったです。

そして、だんだん英語を話すことへの緊張感がなくなりました。日が経つごとに何を話しているのかがなんとなくわかるようになった時は、凄く嬉しく思いました。

私のホストファミリーは、ホストマザーの両親とホストマザーの弟でした。ですが、実際おじいさんは施設にいて、弟ともあまり会う機会がありませんでした。しかし、おじいさんの誕生日パーティーにはファミリー全員と会うこともでき、また沢山の親戚やお友達と交流することができました。とても楽しい時間を過ごせました。

ホストファミリーと過ごせる2日間は、shopping や White Rock、教会にお祈り、B,C,CANADA、国境線、お散歩と充実した沢山の経験をすることができました。

また、ホストマザーが用意してくれる食事はどれも美味しかったです。

私のホストマザーは紫が大好きで毎日紫の服を着ている面白くて可愛い方です。そんなマザーのことが私は大好きです。とても感謝の気持ちでいっぱいです。



ホストマザー

2. バンクーバー散策

ギヤスタウン、スタンレーパーク、キャピラノ吊り橋へ行きました。

スタンレーパークには大きなトーテムポールがたくさんありました。一つ一つに動物や爬虫類、鳥などが彫ってありカラフルに色がついていてとても迫力がありました。

キャピラノ吊り橋は思った以上に高く揺られて長くて怖かったですが景色は最高に綺麗でした。また、移動中のバスの中でのカナダ人学生との交流が楽しかったです。



スタンレーパークにてトーテムポール

3. 見学

ボーイング社工場、博物館、大学へ行きました。普段見ることのできない飛行機をつくっているところや、飛行機の歴史や、どんなことを大学では学んでいるのかを知ることができました。とても貴重な体験が出来たと思います。行くことができて良かったです。

4. シアトル

シアトルではスターバックス1号店、セフィコフィールドに行きました。

スタバでは1号店でしか買えないロゴの入ったタンブラーとマグカップを購入しました。

セフィコフィールドでは普段入ることのできない選手の使うベンチや記者の座る席、スイートルームに入ることができました。スイートルームからの眺めは、グラウンドがとても見やすかったです。いつかセフィコフィールドで野球を観戦したいと思いました。

5. 感想

私は今回の研修に参加することができて本当に良かったです。私がホームステイしたのはカナダのバンクーバーですが、気候がとってもよくて街の雰囲気がとても素敵でした。そんなバンクーバーのことが私は大好きになりました。

また、全国の仲間と出会うことができ、カナダ人学生とも知り合え、素敵なホストファミリーと沢山の思い出もできました。

日本とは異なった文化や違った一面を肌で感じることができました。10日間という短い期間の研修でしたが、自分の感じたことや経験を今後の自分の生活や考え方に繋げていきたいと思いました。そして、もっと英語が話せるように努力してまたバンクーバーに行きたいです。



Pacific Academy にて

アメリカ、カナダ海外研修

愛知県立名南工業高等学校
化学工業科 2年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

人生で初めてのホームステイ。初めての海外で不安いっぱいだった私を快く受け入れてくれました。お母さんとお父さんと私の3人で過ごした日々は、とても良い経験になりました。とくに印象に残っているのは、ファミリーと過ごした土日の2日間。お母さんは、私と同じでショッピングが好きなので、2人でアウトレットやショッピングモールに行きました。とてもいいにおいのする香水をプレゼントしてくれて嬉しかったです。他にも海に行ったり、お花がきれいな公園に行ったり、楽しかったです。



海沿いにて

2. バンクーバー散策

3日目のバンクーバー散策では、スタンレーパークやキャピラノ吊り橋、バンクーバー市内の散策をしました。あいにくの雨で、スタンレーパーク内では記念撮影しかできなかったです。

キャピラノ吊り橋では、たくさんのアクティビティを楽しみました。高いところからの景色はとてもきれいでした。市内散策では、バンクーバーオリンピックの聖火台に行きました。

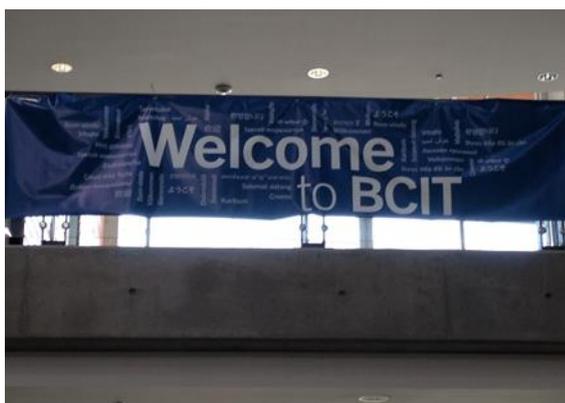


ON OBSERVE ALL SAFETY SIGNS

キャピラノ吊り橋にて

3. 会社、学校見学

BCIT、ボーイング社、航空博物館などに行きました。どこも私の専門である化学がなく残念でしたが、見学しているうちに興味がわいてきて、とても良い勉強ができたなと思いました。どこも、英語での説明だったので、初めは聞き取るのに一苦労でしたが、だんだん聞き取れるようになり、楽しく勉強が出来ました。とくに、テレビでやっていた工場見学が好きで、実際に見学できたのがすごくうれしかったです。飛行機の部品に、名古屋産のものがたくさんあったのが驚きました。



BCITにて

4. シアトル市内散策

6日目、7日目のシアトル散策では、まずアメリカへの入国審査が怖かったです。でもなんなく入国できて安心しました。

シアトルに入ってまず昼食をとり、シアト

ルマリナーズの球場、セーフコ・フィールドに行きました。野球にそんなに興味はなかったけど、実際にメジャーリーガー達がプレイしている場所ということで、すごくテンションが上がりました。VIPルームにも行けて、嬉しかったです。

その日はホテルに泊まり、朝チェックアウトしてから、スターバックスの第1号店に行きました。指定された集合時間を越してしまうほどの人が並んでいて、少し疲れました。1号店でしか見ることが出来ないロゴや、買えない物が買えて満足。親に買っていったコーヒー豆がとても喜ばれました。



セーフコ・フィールドにて

5. 感想

人生で初めて経験することばかり。海外にいったのも、飛行機にのったのも初めて。それでも安心して10日間が過ごせたのは、一緒に行った仲間たちがいて、先生方がいて、そして、日本で待っていてくれた先生や親がいて、いろんな人々に感謝したいなと思います。全く慣れない環境の中で過ごした10日間は、自分にとって大きな刺激になったし成長できる良いきっかけになりました。英語にも不安はあったけど、分かりやすく優しく話してくれたので理解できたし、だんだんわかるようになりました。言語の壁があっても、ジェスチャーで何とかなるし、楽しく会話できました。

10日間は、長いようで短く、とても充実しました。この経験を生かし、今後も楽しく、

精一杯過ごしたいです。

Thank you for everything!!

海外研修

名古屋市立工芸高等学校
電子機械科 2年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

私が10日間お世話になったホームステイ先は、お母さんと、お父さんと子供二人のとても賑やかな家庭でした。時々親戚なども遊びに来て一緒に遊んだことをよく覚えています。



ホストファミリーとの一枚

ホームステイで私が一番心配していた、コミュニケーションでは私がわからないような顔をすると、聞き取りやすいようにもう一度繰り返してくれたり、別の言い方で配慮してくれたりもしてとても助かりました。

食事は想像していた通り日本とは違い、なじめないところもありましたが、美味しいものも沢山あり、今まで食べたことのないような味でとても沢山の刺激をもらいました。

ホームステイを終えて思ったことは、カナダの子供は日本の子供に比べてとても活発ということです。遊びのひとつひとつが少し危険でその時はとてもひやひやしました。今となっては良い思い出です。

休日にホストファミリーみんなで行った魚市場では海の上に道が作られていて、そのまま船の上で魚を売っている光景や、ランチを食べた公園の日本では見たことのない遊具な

どを見て、改めて海外ということを実感できた一日でした。魚市場で買った魚のフライはとてもジューシーでおいしく、とても楽しかったです。本当に良いファミリーでした。いつかまたカナダに旅行に行ったときホストファミリーと再開できたらいいと思います。

2. バンクーバー散策

バンクーバー散策では、日本では体験することのできないようなことを沢山体験することができました。キャピラノ吊り橋のアトラクションではとてもスリルのある体験ができ、BCITでは盛大な実習の装置や機械があり、ダウンタウンなどでは現地特有の雰囲気がある品物を買って、実際に海外の文化などに触れることでとても沢山の刺激を受けました。ダウンタウンなどのショッピングなどで買い物をするときに、紙幣で買い物を済ませてしまい、お財布の中が貨幣で一杯になって困ったことをよく覚えています。

3. 見学先

今回の研修で見学させていただいたところで、私が一番記憶に残っているところは、やはりボーイングの工場でした。この工場見学を通して、もともと飛行機自体にはあまり興味がなかった私ですが、飛行機の説明を聞いているうちに少しずつ興味が湧いてきて、今ではとても関心を持つようになりました。工場内ツアーの説明はすべて英語でしたが、研修が始まって数日経過したせいなのか、研修開始直後よりも英語が聞き取りやすくなったように感じました。英語が聞き取りやすくなったと大きく実感できたのはホストファミリーとの会話でした。一泊二日でシアトルに行く前に比べ、ホストファミリーの言っていることが理解することができとても喜びを感じました。

4. 市内観光(カナダ、アメリカ)

カナダやアメリカの雰囲気はどこか日本とは違い、街中で演奏している楽器なども日本

ではあまり見ることのない珍しいものばかりでとても心地よい音でした。他にも路上を走る車、売られている商品、すれ違う人、全部が新鮮でとても良い体験ができたと思います。



シアトルホテルでのディナー

5. 感想、その他

今回の研修を通して沢山の貴重な体験をすることができ、本当に今回の研修に参加できてよかったと思いました。この機会に学ぶことができた、沢山のことをこれからの学校生活やその後の生活にも生かし、この研修で会うことができた皆さんと、思い出を一生忘れないでいきたいです。



カナディアンとの送別会で

My Canada “Vancouver” & America “Seattle” Memories

名古屋工業高等学校
建築科 3年 生徒

1. Homestay & Host Family

僕は今回の海外研修に応募した理由は、研

修に参加する前にアメリカに留学しており、そのときの英語を忘れないようにする目的や留学とは違う工業専門の研修に参加してみたいと思い参加しました。

僕のホストファミリー先の家族はお父さんとお母さんと7歳の男の子と6か月の赤ちゃんがいました。初めホストファミリーと会うのにとっても緊張しました。しかし、自分は1年間の留学経験を体験していたので、英語で会話することに関しては、特に違和感はありませんでした。

ホストファミリーの食事では、お母さんがインド人なのでほとんどがインド料理のカレーが出て、しかも、ものすごくスパイシーでした。

ホストファミリーとの生活では、夜に散歩に出かけたり、みんなと家で映画を見たり、7歳の男の子と戦争ごっこをやったりします。

最後の日に僕はホストファミリーに手紙を書きました。そして、ホストのお母さんに手紙を渡したら、お母さんが少し涙目でした。

僕はこの家族にステイしてたくさん英語で話せることができました。

Thank you my host family!! I will come back to Canada ☺



My Host Family

2. Vancouver

僕たちは、バンクーバーの散策でキャピラノ吊り橋やBCITキャンパスに行きました。

キャピラノ吊り橋では、ものすごく橋が揺れ少しだけビビリ怖かったです。橋を渡り終

えると、さらに小さな吊り橋を渡り、そして途中にお賽銭があり、そこでお願い事を叶えました。願い事を叶えた後、また行きと同じ橋を渡り、渡った後にお土産を買いました。お土産は、紅葉の形をしたクッキーを買い、もうひとつは熊のストラップを買いました。

BCIT キャンパスではモーター、3D プリンター、自動車などに使う機械、ソーラーパネルなどがありました。いざ、電気工学や機械の話の聞くとぜんぜんわかりませんでした。BCIT キャンパスで一番おどろいたことは、専門学校でこんな広い敷地があることに驚きました。

3. Company Tour

僕たちは会社見学でボーイング社と航空博物館に行きました。

ボーイング社では、会社の見学内の写真撮影が禁止だったので、残念でした。ボーイング社の中を見てみたら、たくさんの飛行機が並んでいました。しかも、飛行機の部品ほとんどが地元の愛知県が造っていることに驚きました。

航空博物館では、飛行機の歴史について学びました。僕は飛行機に興味があるけど、自分が思ったより好きではありませんでした。建物の外にたくさんの飛行機が置いてあり、僕たちは大統領専用旅客機（エアフォースワン）の中を観ました。観た後、博物館の中でお土産を買いました。

4. Canada & America

カナダの観光では、オリンピックの聖火台や蒸気で動く時計などを観ました。観光をした後、お土産を買いました。お土産では、カナダの定番のメイプルシロップ、ブレスレット、自分が欲しかったマフラーを買いました。カナダではとてもいい買い物が出来てよかったです。

アメリカの観光はシアトルマリナーズのセフィコフィールドやスターバックス1号店に行きました。セフィコフィールドのグラウンド

に上がってみると、ものすごく広く感じました。そして、普段行けないスイートルームの椅子に座らせてもらい、少しリッチ感が味わえたような気がします。



Safeco Field in Seattle

スターバックス1号店では朝からものすごく行列でした。そして、待つこと約15分後に店内に入ることができ、自分の番の時にタンブラーを3つと自分が飲んでみたかったモカクラペチーノを注文しました。クラペチーノは濃厚でとても美味しかったです。

5. Impressions etc.....

At last day I wrote canadian students name in Kanji. I was very nervous to write calligraphy.

I have also been through this training, it was beyond my wildest dreams and It's a real gift to be allowed to live in Canada. Thank you everyone and someday I want to come back to Canada. I LOVE CANADA !!!!!



Japanese Culture Calligraphy

(日本語訳) 最終日に僕は習字でカナダの生徒の名前を漢字で書きました。僕は習字を書

くのにとっても緊張しました。

僕はこの研修を通して想像以上にすばらしいものでした。そして、カナダに生活できるのは、本当にありがたいです。みなさん、ありがとう！！それと、いつの日かカナダに戻りたいです。カナダ大好き！！！！

カナダ・アメリカ海外研修

岡山県立津山工業高等学校
デザイン科 2年 生徒

1. ホームステイ・ホストファミリー

私のホームステイ先の家族は三十代の夫婦と、子供が三人でした。

私は英語が喋れず慣れない場所で初めて会う人たちと仲良くできるか不安でしたが、本当の家族のように接してくれ、初めて会うような気がしないくらい充実した時間を過ごしました。最初は気を使っていましたがホストファミリーが「あなたの家だと思ってくつろいで、自由に使って」と言ってくれました。気持ちがすごく楽になり徐々にホストファミリーとも打ち解けました。

休日は子供の誕生日パーティーに行ったり、映画を皆で観たりしました。凄く楽しかったし良い思い出ができました。子供達と折り紙をして遊んだ時、長男のアルバート君が折り紙を気に入ってくれました。紙飛行機を夢中で作り遊んでいました。日本の遊びや文化を気に入ってくれとても嬉しかったです。



ホストファミリーとの写真

2. バンクーバー散策

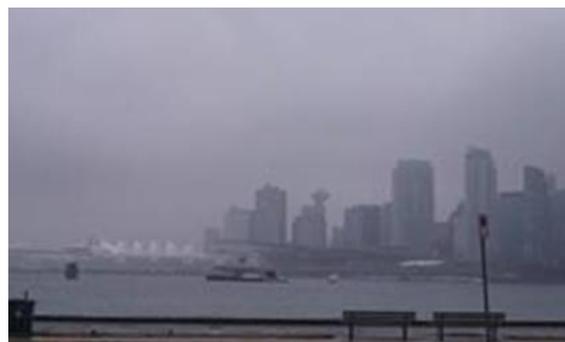
7月24日カナダ人学生と一緒にバンクー

バーを散策しました。ギヤスタウンやスタンレーパーク、キャピラノ吊橋に行きました。

ギヤスタウンにはたくさんの人と沢山の店が並んでいました。高層ビルや大きな建物があつてとても賑やかでした。ギヤスタウンで有名な蒸気時計は大きさ4～5mほどで上から蒸気が出ており綺麗な時計でした。

スタンレーパークでは、観光スポットで有名なトーテムポールを見たり、その近くにあるお土産屋さんに行ったりしました。この公園は世界で16番目に良い公園とされ、北アメリカでは6位に輝いたとても広い公園です。

キャピラノ吊橋では、カナダ人学生と一緒に吊橋を渡りました。大きく長いつり橋でとても揺れました。橋の上から見た風景は綺麗でした。



スタンレーパークから見た景色

3. 見学先

BCIT や芸術大学の見学では、海外の学生がどのような事を学んでいるのかが分かりました。英語の説明で分からない部分もありましたが一生懸命聞き取りました。

私はデザイン科なので美術芸術大学の見学を楽しみにしていました。芸術にもいろいろなものがあり人それぞれ考え方が違い見学していてとても面白かったです。生徒の方々は皆楽しそうに作業をしていていい環境だなと思いました。

4. 市内観光

アメリカ、シアトルでの市内観光ではスターボックス1号店にみんなで行きました。マグカップやコーヒー豆を買いました。スター

ボックス1号店の定員さんがとても優しく面白い方でした。

シアトルマリナーズの球場にも行きました、とても広く芝が綺麗で日本人選手の活躍も聞くことができました。シアトルは日本人観光客もたくさん来る場所なので日本語の道路標識などが街にたくさんありました。お土産屋さんに行くなど楽しい市内観光ができました。



スターボックス1号店の定員さん

5. 感想. その他

私は海外に行くのはこの海外研修が初めてで、行く前は不安でした。でも、この海外研修に行ってきたさんの事を学べたし研修に応募してなかったら逢えなかった20人とも出逢うことができました。皆優しい人達ばかりで、友達もたくさんできました。この海外研修に行ったら本当に良かったと思います。

この10日間は私にとって意味のある10日間だったと思うし一生忘れることのない思い出になりました。またこのメンバーで何処か行きたいです。



海外研修メンバー

海外研修を終えて

香川県立三豊工業高等学校
電子科 3年 生徒

1. Homestay

私がホームステイした家は、マザー、ファザー、社会人のお姉さんと大学生のお兄さんと中国人留学生がいるファミリーでした。お姉さんとお兄さんはほとんど家にいなくあまり話すことはありませんでした。

ホストマザーはいつも明るく私たちと積極的に話をしてくれてわかりやすい英語で話してくれたので不安なく過ごせました。ホストファザーは毎日学校への送迎をしてくれたり一緒にホームステイしていた中国人留学生とサッカーやバスケットなどのスポーツに連れて行ってくれたりしてくれる優しいファザーでした。中国人留学生とも折り紙や手押し相撲をして遊び仲良くなることができました。



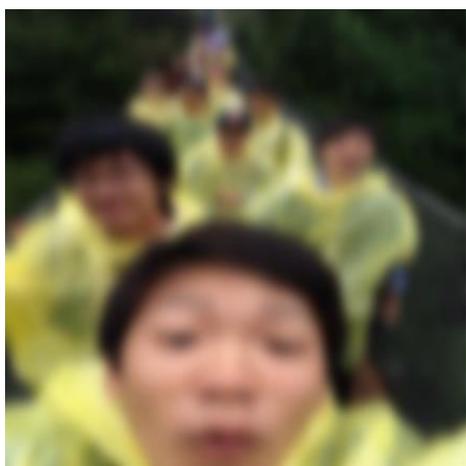
休日にホストファミリーと国境にて

2. Vancouver

この日バンクーバーでは2か月ぶりの雨が降り少し肌寒い天候の中キャピラノ吊り橋にいきました。思いのほか高く、高所恐怖症の私にとっては少し怖い体験でしたがきれいな風景を見られて良かったです。

移動中のバスではpantyゲームという少しくレイジーなゲームを日本人学生はもちろん、カナディアン(カナダ)の学生にも英語で説明してみんなでワイワイはしゃいでいました。この

ころからみんなと打ち解けることができ非常に思い出深い1日になりました。



キャピラノ吊り橋

3. ボーイング工場

ボーイングの工場に行きました。わたしは飛行機に興味がなかったのですがパンフレットや説明を受けるうちに飛行機に興味が出てきました。工場内では説明が英語で聞き取るのが困難で全部は聞き取れませんでした。先生や友達に聞きながらなんとか少しずつ理解できました。

4. 市内観光・アメリカ

アメリカではシアトルに行きました。セフィコフィールドではテレビでしか見たことのない憧れの場所に立つことができ感動しました。イチローが座っていたベンチにみんながほっぺたをすりすりしていたのが今ではいい思い出です。



マリナーズサイドのベンチ内にて

スターバックスの1号店に行きました。ここでは100ドルぐらい買い物をしましたが多いい人では200ドルも使っている人もいました。いい買い物ができて満足です。

5. 感想

今回海外研修に行って、まずはお金を出してくれたり背中を押してくれたりしてくれた親に感謝しています。また、この海外研修で日本の国際教育のおくれを痛感しました。

カナダは多民族国家でさまざまな人種が混在しているにもかかわらずみんな仲が良く、単民族国家なのにいじめ問題が絶えない日本では考えられない光景でした。

ほかにも日本は英語教育に力を入れないと国際競争に負けると思います。実際に私と同じ家でホームステイしていた中国人留学生は11歳にもかかわらず英語がペラペラでした。日本も年齢の低いうちから英語を勉強しないといけないと思いました。

この研修を通じて様々なことを学ぶことができ、新しい友達もたくさんできました。今回の研修で迷惑をかけたり、ハプニングもあったりしたけどみんな楽しく過ごせたことは一生の思い出になると思います。皆さん本当にありがとうございました。

Thank you my friends!!

異国文化に触れて

松山聖陵高等学校
建築科 2年 生徒

1. HOME STAY・HOST FAMILY

今回の海外研修のホームステイは、女子は1人だったため、行く前からどんなホストファミリーなのかとずっと緊張し不安ばかりでした。しかし、迎えてくださったホストファミリーはとても親切な方でした。

ホームステイ先は、9人家族で長男 David、長女 Nicole、祖父 Ignacio、祖母 Aida は、ハワイに旅行に行っているため不在でした。父 Nicolas、母 Novelyn、次女 Hannah、三

女 Angelica、四女 Kristen でした。他に、私以外にもホームステイしている韓国の親子ソフィアさん、シャーロット 8 歳もいました。

私は英会話が苦手で、私のホストファミリーはとても会話が早く、最初は何を言っているのかわからず戸惑いました。ですが、時間が経つにつれ少しずつわかるようになり、簡単な単語を並べてですが話したり、それで通じない時はジェスチャーをつけて話したりしました。伝えたい言葉を一生懸命に聞き取って分かってくれて、会話できた事がとても嬉しかったです。

休日 1 日目は、16 時までは Jeans さんとショッピングモール巡りをしました。Jeans さんは、フランス人の方でとてもショッピング好きで明るく優しい方でした。

16 時からは、Jorge daddy の誕生日パーティーを Nicolas 一家、Jorge 一家、ソフィアさんとシャーロットちゃん、海外メンバーの M としました。誕生日パーティーでカナダのバースデーソングを聞いていたら、日本と一緒にだと気づきました。Nicolas に「日本、韓国のバースデーソングは？」と聞かれ、歌うと、「一緒にだ」と言われ、バースデーソングは世界共通なのだと思います。そこから日本の文化の話や韓国の文化の話をして盛り上がり、とても楽しいバースデーパーティーでした。

休日 2 日目は、Vancouver にある教会に行き、昼からはホームステイ先の家族の知り合いをふくめ 4 つの家族で昼食を食べました。

まず教会に行き、宗教的な異文化との触れ合いを楽しむ事ができました。

教会の帰りにホームパーティーしました。初めて食べるものばかりでしたがとても料理が美味しく、その中でも私が一番びっくりしたのが、アボカドアイスです。そこのホストのお母さんはフィリピン出身で、フィリピンではポピュラーな食べ物ですすぐ作れるらしく、食べてみるととても美味しかったです。

子供達は一番上が 20 歳で下は 4 歳でした。4 つの家族ともノリがよく日本語で話しして

くれたりし、4 歳の子はとてもシャイと聞きましたが、私にはすぐなれてくれ、一緒に遊んだりもしてとても楽しい休日でした。

日本に帰国する時が近づくにつれ本当に悲しくなりました。毎日私の部屋に入って来て子供たちと遊んだり、手紙を書いてくれたりしました。それも後少しと考えるとこのまま Canada にいたいと思うばかりでした。滞在中は、私を家族の一員のように接して下さったのでとてもファミリーのみなさんに感謝しています。



さよならパーティー

2. VANCOUVER

バンクーバーでは現地の学生たちとスクールバスで行き、バスの中ではみんなで写真を撮ったり、お喋りしたり、音楽を流したり、ゲームをしたりと、修学旅行気分でも楽しむことができ、現地の学生とも仲良くなりました。たまに言葉が通じないときがありましたが、私と好きな歌手が一緒だったためその話で盛り上がりました。

キャピラノ吊橋の時もみんなで写真を撮り交流を深めることができ、とても楽しめました。周りの景色がとてもきれいでした。大きな吊橋は、雨で滑りそうだったのと揺れが大きくバランス感覚が少し麻痺しそうでした。とても谷底の川も綺麗で自然と一体化した気分になりました。

Stanley park では、雨で景色が見えにくくて、海と高層ビルのマッチした写真を撮りたかったのですが残念です。

ギャスタウンでは、町並みや家具、インテリアがとてもお洒落で一番気に入りました。



ギャスタウンの街並み

3. COMPANI TOUR

工場見学ではボーイング社にいきました。ボーイング社は、America、Canada の航空機だけではなく、世界各国の航空機を製造している企業で、エントランスの天井には様々な国の国旗が揚げられていました。それを見てボーイング社がどれだけすごい企業かというのがわかりました。

日本とは規模が比べものにならないくらい広くて、移動はすべてバスでした。工場内は撮影ができませんでした。敷地がとても広く驚くばかりで、また工場内では人の足でなく自転車やカートで移動していたため、工場の規模の大きさを実感しました。

工場内では、世界各国の航空会社の名前を書いてある看板があり、そこには、私ができる範囲では、JAL、ANA、ジェットスターなどがあり、とてもワクワクしました。

ガイドさんの解説はとても難しく、専門的用語でなかなか聞きとることができませんでした。ですが、なかなか見学することもできない世界的企業を見学することができ、とてもいい経験になりました。

4. CANADA,U,S,A

Canada と Seattle は陸続きになっているため、朝早くに学校を出発しバスで移動しました。税関を通るとき申請書をバス内で書きました。税関を通るときは、指紋、何個か質

問をされとても優しくイケメンな税関審査員でした。

無事全員が税関を通り再びバスに戻り、昼食をとるため日本のものや食べ物を売っている UWAJIMAYA に行きました。私はとてもおなかが空いていたため、ランチボックスを頼みました。私はすぐ注文したためスーパーに行き、そこに美味しそうなジュースがあったため、私は全種類買いました。すると店員さんが笑っていて私はなぜかな？と思いレシートを見ると、約 1 \$ 安くしてくれていて「最後にいい旅を」と言われ、とても親切な方だと思いました。スーパーには、日本の飲み物やお菓子などが売っていて英語に翻訳されて販売されているのもあれば、されずに販売しているのも有りとてもびっくりしました。

そこから 10 分から 15 分した所にあるセフィコフィールドに行きました。セフィコフィールドでは、グラウンドを歩いたり、1 試合貸し切りで 30 万から 40 万する VIP room を見学したり特別な所をたくさん見ることができました。

一番びっくりしたことは、2 階の記者席の所までファールボールが飛んできて、壁が凹んでいたことです。理由は「前にあるフェンスが低い」と言っていたのですが、低くても海外の方が 2 階の部分が高いので、2 階までボールが飛んできると考えると、どれだけすごい選手かと考えさせられました。私の学校の近くに高校野球などの試合ができる坊ちゃんスタジアムがあるのですが、グラウンドに降りたり、ベンチに入ったりしたことがなかったので、とても貴重な体験ができました。

そこから球場を後にし、Seattle で泊まる RED LION HOTEL へ行きました。ホテルのロビーから見るジャグジーやプールがとてもお洒落に感じました。夕食は、ホテルと隣接しているレストランで英語のメニューを読み、それぞれ自分の食べたいものを注文しました。私は、昼のランチボックスでおなか一杯だったためチキンのサラダを注文しました。です

が日本と比べようにもならないぐらいの量でびっくりしました。

無事夕食も終わり部屋に戻り友達と話していると急にノックをされ、先生からアメリカだからスリや危ない人がいるから気をつけてくださいと言われ、ドアにある窓から確認したら、黒人の人が2、3人立っていました。日本にはない状況でとても怖く友達に来てもらったり一緒にいてもらいゲームをしたりし少し遅めに就寝しました。

朝早くスタバ1号店に向かうためホテルを出発しました。お店に向かう時の街並みや着いてから付近にある市場を見にいきました。とてもリーズナブルな値段から高額商品がありました。ですがとてもお洒落でした。お店へ続く長蛇の列に驚くばかりでした。店内に入り、私はタンブラーやジュースを買いました。お会計の時の店員さんがとても優しく、日本語で「来てくれてありがとう」と言ってくれ、とても楽しく買い物ことができました。私的にはカナダドルよりアメリカドルの方が扱いやすかったです。

カナダで私の一番の思い出は、Granville Island の public マーケットです。Public マーケットではかわいいお菓子が売っていましたが、日本より物価が高く、野菜とかも 1.5 倍近くとてもびっくりしました。食べ物はとてもおいしくて良かったです。

カナダ・アメリカの気候は、日差しが強いですが、日本の夏より湿気がなくとても過ごしやすかったです。



PUBLICMART Vancouver

5. IMPRESSIONS

私は、今回の海外研修でたくさんの事を学ぶ事ができました。全てが新しい挑戦で、行くまでは不安や緊張の繰り返しでした。様々なことを一気に体験できた 10 日間でした。たった 10 日間と短い日々だったけど毎回見るものすべてから刺激を受け、とても内容の濃い 10 日間を過ごせました。

飛行時間 9 時間と、とても長いフライトでしたが、初めて出会った研修の仲間と会話はずみ、あっという間のフライトでした。研修メンバーは、学年や住んでいる地域も北海道から沖縄までとバラバラでした。いろいろな方言や各地の名産を知りとても勉強になりました。カナディアン生徒の皆、先生、ホームステイの人たちもとてもフレンドリーで、家族のように接してくださいました。

海外では異文化が混ざり合っているため、研修での大切なことは「自分の考えを伝える」ことです。そのためには断ることも悪くない、ということを実感しました。

後、私は一つ目標を決めました。英会話能力が向上したい、ということです。この研修に参加して改めて自分のコミュニケーション能力が低いことに実感させられました。私は簡単な文法+単語を並べたら伝わるかと思いましたが、それだけではうまく伝わらず、どうしたらいいのかわかりませんでした。そこでさらに英会話の勉強が必要だと感じました。

研修を通し、私は様々な人から勇気や希望を与えられました。日を追うごとにカナダに愛着が湧いて、最終日の前日のさよならパーティーでは、カナディアンの学生が、私ともう一人の子だけにかわいいメッセージカードでメッセージを書いてくれ、とても感動しました。最終日には日本へ帰るのが嫌でしたがとてもいい経験でした。

最後にこのような素晴らしい経験を与えてくださった先生方、家族、ホストファミリー、現地の人々、すべての人に感謝します。本当に貴重な体験させていただきありがとうございました。



YANNA & MEGAN & OLIVIA が message



東京品川駅近くのラーメン屋で数人のメンバーで夕食

Happiness of 10 days

高知県立高知工業高等学校
建築科 3年 生徒

1. Homestay

私の Host family は父母と高校生の子、小学生の息子がいる 4 人家族の家庭でした。しかし、現在 Host father が NY、娘が中国に居るといふことで Host mother と息子に加えて私が来る以前から居る留学生の 4 人で生活をしました。

休日には、Shopping や Lunch party、プラム狩りに行き、夕方から夜にかけては小学生の男の子と家の前にある公園でサイクリングや砂場遊びをしたり、家で様々なゲームをしたりして楽しみました。

初めのうちは会話を聞くことができても答えることがなかなかできず、上手くコミュニケーションが取れなかったのですが、次第に

ぱっと文章が浮かぶようになり、日にちを重ねるごとに会話が弾むようになりました。

居食住それぞれ日本との大きな文化の違いを知り体験することができた、とても充実した時間を過ごすことができました。そしてそれを経験させてくれた Host family に本当に感謝しています。



In the park in front of the house

2. Vancouver

Canadian student と一緒に School bus で目的地へ向かいました。その際、みんなでゲームをしたり好きなアーティストの話で盛り上がりたりして連絡先を交換するほど仲良くなることができました。

キャピラノ吊橋では天候が生憎の雨でしたが、そのおかげでスリルも高まり大自然の中で楽しむことができました。



In capilano suspension bridge

Gastown ではレンガを敷き詰めた昔ながらのアンティークな建物がたくさん並び、お

土産屋さんや Café も豊富で、お洒落でレトロな雰囲気が味わえる町並みでした。

3. Company tour

ボーイング社工場や博物館、大学などで見学ツアーをしました。ボーイング社は広大な敷地で、目の前で巨大な飛行機を見たときは圧倒されました。芸術系大学は外観や内装、すべてが独特で日本では考えられないようなデザインをした学校でした。デザイン学に興味があった為、他の見学先では理解し辛かったガイドさんの説明もここではよく耳に入ってきて、なんとなくではありますが理解することができました。

4. Canada & America

Seattle のセフィコ・フィールドでは日本人のガイドさんが館内の様々なことを解説してくださり Backyard、Ground、Interview room、Sweet room など、普段は入れない場所を見学することができ、いつかここで観戦したいなという気持ちになりました。

スターバックス 1 号店は私自身一番行きたかった所で、たくさん写真を撮ったり限定品を買ったりして思い出を残しました。店員さんもみんなノリがよくて終始笑顔が絶えませんでした。



In first starbucks store

5. Impression

この海外研修は自分にとってプラスになる

ことばかりであったという間の 10 日間でした。日本とカナダの文化の違いや言葉の大切さと同時に、日本全国から集まったこのメンバーのおかげで国内同士の違いなども体験、発見することができ言葉に表せないくらい幸せな時間を過ごすことができました。研修を通して、もっと英語を学び身につけて将来海外に住みたいという気持ちが大きく膨らみました。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださった両親や先生方、ここで出会うことのできた Host family やカナダのみんな、そして大好きなこのメンバー、関わったすべての方に感謝しています。

本当にありがとうございました。

海外研修に参加して

福岡県立小倉工業高等学校
電子機械科 2年 生徒

今、日本もグローバル化が進み、日本に移住したり観光に訪れたりする外国人が年々増え、世界の共通言語である英語の必要性が、以前にも増して高まってきているように感じます。若いうちに海外で英語の勉強をして、その経験を将来に役立てたいと思い、私は今回の海外研修に応募しました。

私がホームステイをしたホストファミリーは、インド系のカナダ人で、家族構成は父、母、8歳と3歳の男の子の4人、そして時々祖母が家に来ていました。

休日になると、港にある魚市場に連れて行ってもらい、美味しいフライフィッシュとフライドポテトをホストファミリーと一緒にいただきました。その港は有名な観光地で、多くの家族連れや観光客でにぎわっていました。その後、ホストファミリーの親戚の家にも連れて行ってもらいバイキング形式で様々なインド料理をいただきました。私はインド料理のほとんどはカレー味だと勝手に思い込んでいましたが、実際はそうではなく、様々なスパイスで味つけがしてあり、とても美味しかったです。料理と一緒にパンチジュースとい

う赤いさくらんぼ色の炭酸飲料も飲みました。これまで味わったことのない味で新鮮でしたが、あまり私の口には合わず好みの分かれる味だと思いました。カナダは身内との親交が厚い国で、頻繁に親戚や友人など大勢の人と食事をする機会があり、人と人との関わりが思っていたよりも親密で驚きました。

私のホストファザーは地元のサッカーチームに入っていて、休日に彼が出場するサッカーの試合を観に行きました。選手のほとんどはホストファザーと同年代で、残念ながらホストファザーのチームは負けてしまいました。みんなとても楽しそうにプレーしていたのがとても印象に残っています。



ホストファミリーと

この海外研修の楽しみのひとつであった BCIT というカナダの大学見学に行きました。

BCIT には6つの学科があり、今回主に見学したのは機械学科のキャンパスで、ここでは大学の授業の一環で、実際に企業に行き、現場で実地経験を積みながら、技術を学んでいくという授業プログラムがあり、卒業しても大学で学んだことがそのまま将来の仕事に直結するため、毎年入学者が多いそうです。このようなカリキュラムは日本の大学にないシステムで、とても面白い発想だとも思いました。

一方、特殊機械などを扱う実習工場では、実習生が作業服や安全メガネを着用せずにフライス盤を使って作業していました。しかも、作業後の機械の周りには、切子（鉄を削った時に生じる細くて小さい金属片）がたくさん

落ちていて、掃除が行き届いていないようでした。このように日本では当たり前である安全第一や5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）がカナダではあまり認知されていないところもあり、日本の工業高校生の私の目から見ても驚きを隠せませんでした。そこで私は将来、外国に行く機会があれば日本の安全や掃除に対する高い意識とその必要性をもっと伝えたいと思いました。

バンクーバーでは、市街地であるギヤスタウンと観光地であるキャピラノブリッジに行きました。

ギヤスタウンは酒場やお土産屋がたくさんあり、日本とは違った町並みで石畳の道や煉瓦造りの建物がとても歴史を感じさせ、とても興奮しました。

キャピラノブリッジでは、大自然に囲まれた吊り橋を渡りながら、自然を満喫できましたが、橋がとても揺れるのでスリルがあっただけで楽しかったです。カナダの木は良質な木として世界的に有名で、その木々がもたらす空気はとても澄んでいて、心地よかったです。

パシフィックアカデミーという学校で行われた文化交流会の時には、私たち日本人からカナダ人の生徒達に日本の文化を紹介しました。

まず初めに、抹茶をたてる作法を見てもらい、実際に飲んでもらいました。外国の人は苦いお茶が苦手だと思っていましたが、カナダ人の生徒たちは、表情を変えずに飲んでいたので少し驚きました。

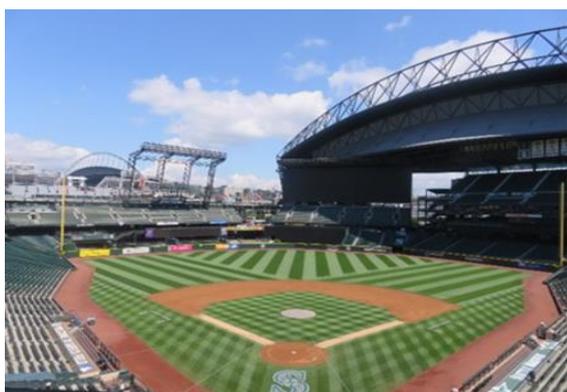
次に書道で何を書いたらカナダ人の生徒たちに喜んでもらえるかをみんなで話し合ったところ、それぞれの生徒の名前を漢字で書こうと決めました。例えば「オリビア」という名前を「和梨美愛」といったように一人一人漢字で表現しました。名前を書いたときに生徒たちはとても漢字に興味津々で、一字一字の漢字の意味を聞いてきたので、「beautiful」や「love」などの英単語を使って説明しまし

た。これらのバンクーバー散策では、カナダ人の生徒や同じ研修の日本人のメンバーとも仲良くなり、とても楽しくバンクーバーを見学できました。



文化交流会にて

アメリカのシアトル見学に行った時は、メジャーリーグのシアトルマリナーズの本拠地であるセーフコフィールドという日本の球場よりも大きく、芝生がとてもきれいな球場を見ることができて、とても興奮しました。VIPしか入れないスイートルームやメディアルーム（世界中の記者が入る部屋）も見学することができました。一番感動したのはマリナーズの選手が座るベンチに座ったことで、イチロー選手が座っていたベンチにも座ることができました。



セーフコフィールドにて

ボーイング社の工場も見学しましたが、工場は飛行機を作るだけあって、私が想像していた大きさよりもはるかに大きく広がっています。工場内では写真撮影は禁止されていて、それは情報漏えいを防ぐためかと思ったので

すが、見学者がカメラを落として、機体を傷つけないようにするためだそうです。

飛行機はたくさんの部品からできていますが、それぞれの部品は違う国で製造されていて、もちろん日本でも製造されています。ガイドの方が、日本で製造されている部品は飛行機の重要な部分（フレームや翼等）で使用されていて、日本の技術力でないと製造することができないと言っていました。それを聞いて、日本の技術力は、世界でトップクラスでありとても信頼されていると、とても誇らしく思いました。シアトル見学はとても勉強になるところがたくさんあり、とても良い経験になりました。工業高校生として、アメリカと日本、それぞれの技術力の高さをより学ぶことができました。

今回の海外研修は私にとって初めてのことで、興奮が収まりませんでした。飛行機に乗ることも、海外へ行くことも、ホームステイをすることも全てが初めての経験で、日本にいる時とは違った刺激的な体験をして、今までとは違う視点で物事を見るようになったり、柔軟に物事を考えたりできるようになったと思います。やはりテレビやインターネットで海外を見るよりも、自分の目で見て、実際にふれ合わないと、本当に海外のことを知ったとは言えないと思います。

この研修では、北海道から沖縄までたくさんの高校生と友人になり、カナダの生徒ともハグするほど仲良くなることができ、知識や体験だけでなく、このたくさんの出会いも私の財産となりました。私はこの貴重な経験を生かし、福岡県立小倉工業高等学校の卒業生として、日本の工業や技術力の発展に貢献できるようにがんばっていきたいと思います。

最後に、今回の海外研修の参加にあたり、全工協会の皆様、本校の同窓会の北辰会の皆様、関わって下さった先生方より、このような機会とたくさんの支援をいただきました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

Change myself, change the world!

鹿児島県立出水工業高等学校
電子機械科 3年 生徒

1. 多民族を感じたホームステイ～Boy Meets A Family～

期待と不安の中、ホストファミリーに会うことができました。ファザー、マザー、7歳の Armaan と1歳位の男の子の Vihaan の4人家族でした。初めは英語の聞き取りに苦戦し、ぜんぜん会話ができず、「Shy Boy」と言われました。しかしファザーもマザーもとても優しく、たくさん話しかけてくれました。

私達の部屋は地下室でしたが、とても広く綺麗な部屋でした。カナダの家は壁が薄いと聞いていましたが、本当に隣の家の音楽などが聞こえてきてびっくりしました。

マザーはインド人で、車や家で見るドラマなどはヒンドゥー語のものが多かったです。夕食もインド料理が多くてとても美味しかったのですが、少し辛く、ヨーグルトを入れてマイルドにして食べました。ファザーは仕事が忙しく、あまり遊ぶことはできませんでした。散歩に行ったり映画を見たりしました。とても面白く優しいお父さんでした。Armaan とは毎日遊びました。おもちゃや戦争ごっこをして一緒に遊んだり、ベッドの上で飛び回ったり、とにかく元気過ぎる子でした。公園に行って近所の子も達と鬼ごっこの様な遊びをしたり、サッカーをしたりもしました。Vihaan はとても可愛く、ミルクをあげたり、子守をしたりしました。休日は Vihaan の体調が悪く外出はできませんでしたが、ポップコーンを食べながら映画を見たり、みんなで遊んだりして過ごせたのでよかったです。

初めてのホームステイで不安なことだらけでしたが、とても親切にしてもらいました。文化の違いを常に感じたホームステイでした。特に食文化の違いに驚かされ、日本ではできない体験ができたと思います。本当に良いホストファミリーに出会えました。



ホストファミリーと一緒に

2. バンクーバー滞在について

3日目にバンクーバー散策でキャピラノ吊橋、スタンレーパーク、ギヤスタウンにカナダ人学生と一緒に去了。

キャピラノ吊橋はバンクーバーの観光名所です。傘がさせないため、みんなでお揃いのカッパを着て渡りました。雨で少し霞んでいましたが、とても高いところから見る景色はスリルがありました。

その後、スタンレーパークへ行き、バスの中でホストマザーの作ってくれたランチを食べました。

スタンレーパークは世界で一番広い公園で、本来なら芝生でランチを食べる予定だったので少し残念でしたが、スタンレーパークから見えるバンクーバー市街はとてもかっこよく感じました。また、パーク内を馬車が走っていたのには驚きました。

その後、ギヤスタウンに行きました。ギヤスタウンは初めてこの地域に酒場を開いた「ギャシー」という人物の名が由来されていると教えてもらいました。街並みはとてもお洒落でした。路面が石畳で日本と異なる建築物がとても新鮮でした。有名な蒸気時計も見ることができました。ギヤスタウンのお土産屋を周り、その後、バスで少し移動してオーケーギフトショップと言うお土産屋に行きました。英語での買い物に緊張するかなと思っていましたが、日本人の方が経営されているお店だったため、少しほっとしました。バン

クーバーは高層ビルもあり都会である一方、少し足を延ばせばスタンレーパークのような自然豊かな場所もある良い都市だと思いました。

3. 最先端の航空産業にふれて ～ボーイング社・航空博物館へ～

6日目にシアトルにある航空博物館、7日目にボーイング社に行きました。私は飛行機が好きで、この海外研修に参加を決めた理由の一つがこれらのプログラムに参加できたことでした。この2つ訪問先をととても楽しみにしていました。

航空博物館は館外にも館内にも航空機が展示されており、実際に中に入ったり航空機の歴史を学んだりすることができました。アメリカ大統領専用機やコンコルドの中に実際に入ることができました。専用機の操縦室を近くで見ることができ、また、コンコルドは想像以上にととても狭く感じました。木製の飛行機も展示されており、航空産業が発展してきた歴史を学ぶことができました。案内をしてくださった方はとても知識が豊富な方で、私達にわかりやすい英語でゆっくりと説明してくれました。おかげで単語を聞き取ることができたので、少しだけ理解することができました。しかし、もっと理解できるように英語の勉強を今後もしなければならぬと感じました。

一番楽しみにしていたボーイング社の見学は、一般の方々と一緒のツアーだったため、説明が早くあまり理解できませんでした。しかし、世界最大の飛行機工場を目の当たりにし、専用バスで移動しなければならない程の敷地面積に驚きました。想像していた日本の工場とのスケールの違いに刺激を受けました。飛行機の組み立てラインはボーイング787や767で異なり、まだ完成されていない航空機を見ることができました。一つの飛行機を作るには、多くの工程があることを間近で感じました。見学中は写真を撮ることができなかったことが残念ですが、迫力のある映像

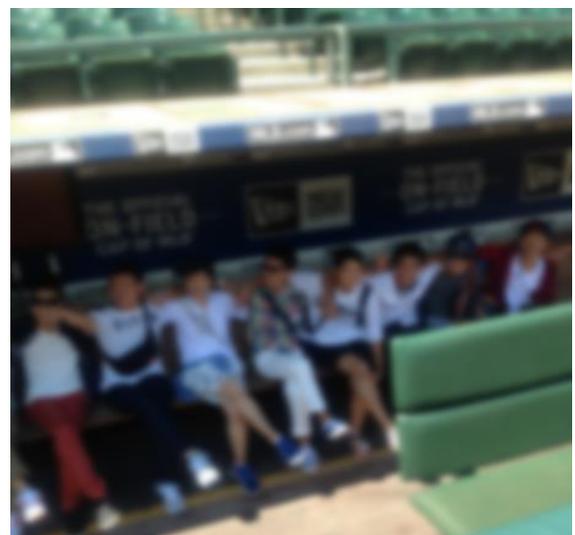
を目に焼き付けようとみんな必死に見学していました。憧れのボーイング社を見学できただけで胸がいっぱいで、飛行機に囲まれた時間を過ごすことができ超幸せでした。

4. アメリカでびっくり！ドキドキ！

6・7日目は工場見学に加え、アメリカ・シアトル観光もしました。

アメリカに着くと、まずはフードコートへ行きランチを買いました。初めてのUSドルで、時間が15分程しかありませんでしたが、無事ランチを買うことができました。すでに米が恋しくなり、ライスに甘辛いソースをチキンとからめた弁当を買いました。ボリュームでとても美味しかったです。10分しか時間がなかったので急いで食べました。

10分程でマリナーズの本拠地であるセフィコフィールドに到着しました。私は野球部に所属していたので、楽しみにしていました。とても広く感じ、その雰囲気には圧倒されました。一般の方が入れないグラウンド内、ベンチ、通路、報道室、VIPルームにも入ることができ感動しました。特にグラウンドの芝生が綺麗で、いつも選手が座っているベンチに座ることができたのが嬉しかったです。また、イチロー選手のメジャーでの活躍、マリナーズやセフィコフィールドのエピソードを聞くことができ、とてもいい体験をすることができました。



セフィコフィールドの3塁側ベンチで

スターバックス1号店にも行くことができました。観光スポットということもありすごい行列ができていて、店内に入るのだけで予定時間をオーバーしてしまいました。お土産にコーヒー豆とマグカップをたくさん買い、無事買い物することができました。店員の方々はとても優しく、おもしろい方々ばかりでした。過密スケジュールの中、多くのことを体験することができました。スターバックスで買い物をしている途中で、路上パフォーマーが演奏を始めるなど、日本ではなかなか体験できないことを体験することができました。

5. 世界の（生徒氏名）になるために！

～海外研修を通して～

今回の海外研修は私にとって初めての経験ばかりでした。国際線の機内は思っていたよりも広く、映画や音楽などを聞くことができゆっくり過ごすことができました。機内食は和食か洋食のチョイスで洋食を選びましたが、正直期待を裏切られました。10時間を超えるフライトは、最初わくわくしていましたが、途中から足がむくんだり緊張したりと疲れました。

カナダに到着した時、まず空気感の違いを感じました。日本の夏とは異なり、からっとしていました。また、空港に降り立った瞬間英語が飛び交っており少し不安になりました。イミグレーション（入国審査）はカナダとアメリカの2回ありました。カナダの審査官の方が穏やかだと思っていたのですが、アメリカの女性の審査官の方が穏やかな印象を受けました。ISSのバッジのおかげであまり質問がなく、問題なく通ることができました。緊張しましたが、Sightseeingと答えることでスムーズに入国審査を通ることができ安心しました。

初めて買い物をしたのは2日目でした。コンビニで水とフローズンを買いました。紙幣を使って支払いをしたので特に問題はありませんでした。だんだんと買い物には慣れ、少

しずつ硬貨も使えるようにはなりましたが、どの硬貨がいくらなのかまだ理解していなかったのも、レジに人が多い時などは焦って紙幣で支払ったりしました。quarterと書かれた硬貨がいくらなのか初めわかりませんでした。後で25セントだと教えてもらいました。日本人の私達に対しどの店でも店員の方々は優しく接してくれたのでとても買い物しやすかったです。

今回の海外研修で私にとって1番楽しかったことはカナダ人学生との交流です。初日から英語に慣れない私達にたくさん話しかけてくれました。特に移動のバスやフェアウェルパーティーでやった「Panty Game」はとても盛り上がり、日本とカナダの距離が縮んだ気がしました。別れは本当に寂しかったですが、たくさん話すことができ、また、みんなと写真も撮れたのでとてもいい思い出となりました。



カナダ人学生に書道で名前を書きました

短い10日間でしたがとても多くのことを学び、多くの思い出を作ることができました。カナダ・アメリカに実際に行き、より海外への関心が高まり、もっと海外に行きたいという意欲が深まりました。本場の英語に触れ、改めて自分の語学力の乏しさを感じ、今後もっと語学力の向上に努めようと思いました。これからの将来、ますます国際的な人材が必要となる世の中になると思います。今回の海外研修を踏まえ、率先して海外で活躍できる人間になりたいと思っています。

この海外研修のことは2年生の時に知りましたが、なかなか踏み出すことができません

でした。たくさん悩み、不安もたくさんありましたが、今回参加し本当によかったと思っています。日本を飛び出し、たくさんの経験ができたのも、多くの方々のおかげだと思っています。

この研修を通して、全国に19人の素晴らしい友人ができました。10日間、その仲間と笑い、日頃とは異なる環境の中、助け合いながら過ごすことができました。また、これからもこの仲間とはどこかで繋がって行くと思います。

海外でたくさんの経験をし、安心して研修ができたのも、このような機会を設けてくださった全国工業高等学校長協会をはじめ、同行したツアーガイドのサオリさん、現地ツアーコーディネーターのアキコさん、引率の先生方には本当に感謝しています。参加に至るまでお世話になった学校の先生方、そして参加させてくれた両親にもしっかりと感謝したいと思っています。

一生忘れられない夏

沖縄県立浦添工業高等学校
インテリア科 3年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

私が、今回の海外研修で一番心に残ったことはやはり、ホストファミリーとの思い出だ。最初の対面式では、カナダに到着して一番緊張した瞬間だったのだが、迎えに来てくださったホストマザーを一目見て、そんな心配もなくなった。慣れない英語をなかなか聞き取れない私のために、車内でもゆっくり話して下さり、窓から見える景色を指さし、打ち解けられるよう説明してくれたのだった。

到着したホームステイ先は、まるで絵本のような住宅街に建っており、すごく素敵な家で興奮した。案内された部屋もホテルの一室のようだ。それになんといっても、専用のバスルームがとても広く、私の自宅の部屋がまるまる収まりそうなくらいだった。

とくに感動したのが、ホストマザーの手料

理だ。ヴィーガンという難しい私の要望に合わせ、素敵な庭で採れた、新鮮な自家製野菜を使い、料理をたくさん作ってくれ、すごく感動したのを覚えている。また、時差ボケでなかなか寝付けないう私のために、ベッドルームまで温かいティーやホットチョコレートを持ってきてくれ、とても心に沁みわたったのだった。

土日は、十個くらいプランを上げて下さり、やりたい事をたくさん選ばせてもらった。その中の一つのショッピングで、たまたま友達と出会い、週末は一緒に行動できたのがとてもラッキーだ。短い時間のなかでさまざまな予定をいれてくれ、私を楽しませてくれようとしているのがひしひしと伝わり、とてもうれしかった。

最終日には、家族や親せきを招き、庭でバーベキューパーティーを開催してくれ、荷造り中にはピアノで日本の曲も弾いて下さった事が思い出に残っている。別れの時、涙ぐむホストマザーを見て、私も辛くなってしまった。数あるホームステイ先で、今回のホストファミリーに出会えたことは奇跡に思う。決して、忘れることはないだろう。



ホームステイ先にて

2. バンクーバー散策

自然が大好きな私にとって、バンクーバーは最高の都市だ。とくにキャピラノ吊り橋にはとても感銘を受けた。森や川に囲まれ、しとしと降る雨の中渡る揺れる橋には、圧巻だった。最初は怖いと思っていた高い場所も、次第に解放感とスリルで楽しくなっている自分に気づく。また、雨という天候が逆に風情を醸し出しており、とてもきれいな空気に癒されたのだった。

昼食は壮大なカナダの公園「スタンレーパーク」で、ホストマザーと一緒に作った巻きずしを食べる予定だったのだが、あいにくの天気だったので、バスの中で食べる事に。男子達は車内でのゲームで盛り上がり、現地のカナディアン生徒との交流も深まったらしいので、結果オーライである。

そして待ちに待ったショッピング。外はかなり寒かったのだが、スターバックスで温かい飲み物を購入し、友達と二人で一本の傘をさしながら歩いた「ギヤスタウン」は、とても楽しく良い思い出となった。

バンクーバーオリンピックの灯台も見学させてもらった。正直あまり迫力はなく、近隣でやっていたフリーマーケットのほうが面白みがあったのは、ここだけの話だ。結果としては、このバンクーバー散策という企画が一番楽しかったのもう一日あっても良かったのではないかと思った。

3. 見学先

この海外研修の醍醐味である。工業高校生ならではの見学先という事で、始めに向かった先は“BCIT”という工業系の大学だ。日本とは規模の違う設備に驚きを隠せない。ただ残念だったのが、大学の案内をして下さった先生の英語が速すぎて、なかなか聞き取れなかったという点だ。軽く通訳してくれる人がいれば、もっと楽しめたのではないかと感じた。

シアトルでは、ボーイング社と航空博物館で、飛行機の歴史を学んだ。私は、高校では

建築やインテリアの勉強をしているので、始めはあまり興味を持てなかったが、模型や実物の飛行機を見るにつれ、引き込まれていく自分がある。男子達はかなり興奮している様子で、そこに男女の違いを感じる私だった。

最後の見学先は、バンクーバーにある「グランビルアイランド」という巨大なマーケットの中に建つ美術大学だ。私が知りたかったことの一つに、日本と外国とのキャンパスライフの違いというのがあったので、楽しみだった。見学してみて、一番うらやましく感じたのが、大学内にあるおしゃれなカフェだ。生徒達はコーヒー片手に、自由にのびのびと授業を受けていて、とても充実した大学での日々を送っているのだと思う。日本では授業といえば、どうしても堅苦しいイメージがあるので、海外のキャンパスは、柔軟な発想を生み出せるよい環境だと思った。日本にも、ぜひそんな文化を取り入れてほしいと思う。

4. 市内観光

ホストマザーと行動を共にした日々が、バンクーバーでの一番の思い出だ。学校帰りに連れて行って下さった「グランビルアイランド」で、夕日を見ながら食べた豆のサラダ、そこでギターリストの演奏する陽気な音楽。素晴らしい午後のひと時に、感極まった私だった。

土日は「ホワイトビーチ」という海や、アメリカとの国境である「ボーダー」、それにかなり長い時間、リクエストしたショッピングもさせて下さり、有難かった。



ボーダーにて

カナダのショッピングモールは、日本と比べかなり大きく、一周見て回るのに丸一日はかかりそうだ。昼食に食べた「SABWAY」は自分で注文したのだが、ホストマザーが英語を褒めてくれた事がうれしかった。また、日本にはないブレッドも気に入った。

少し空いた時間には、リクエストしたサイクリングにも連れて行ってもらった。家の周辺を周ったのだが、素敵な住宅街に溢れる自然、こんな場所に住める人々をうらやましくおもう。天候にも恵まれ、途中木の実をつまみ食いしたりと、最高の体験となった。

2日目は神秘的な巨大な木のある公園や、2度目のショッピング、そして帰りには墓地に連れて行ってもらった。日本とは違うとてもシンプルな造りなのだが、花や緑に囲まれ安らかな空気に包まれていた。かわいい小さな教会も隣接しており、神聖な気持ちになったのだった。

土日があけると、早朝の学校にぞくぞくと生徒が集まりだした。長時間バスにゆられ国境を越え、到着した先はアメリカのシアトルだ。途中、日本人が経営しているフードコートに寄り、お金を渡され各自で昼食を購入した事がコミュニケーション力をつけるよい機会であった。時間がなく、生徒たちはバスの中で食べたのだが、かなりの量と濃い味付けに驚いた。しかし、ホテルでの夕食で食べたフルーツ入りのサラダはとてもおいしかった。英語がずらりと並んだメニューを長い時間かけて友達と解説し、注文したのはとても良い経験となった。

シアトルでは、初めに「セフィココールド」というマリナーズの野球場に行き、普段なら滅多に入ることのできないようなVIPルームなどにも案内してくれ、野球のルールさえ知らない私でも楽しむことができた。

翌日は、スターバックス1号店に連れて行ってもらった。お腹がいっぱいでドリンクを飲めなかったのは残念だったが、長い列に並び購入できたタンブラーは今でも大事に使用している。



シアトルマリナーズにて

5. 感想、その他

総合的にはかなり満足できた旅であった。一日一日の予定が詰まっておき、暇を感じず充実した内容で、10日間という短い期間の中、実のある濃い日々を送ることができたと感じている。

初めは慣れない英語に戸惑い、自ら会話をするができなかったのだが、徐々に耳が慣れ、聞き取れるようになり、日常会話や買い物程度なら積極的にできるようになったのは大きな進歩だ。

また、全国さまざまな県から同年代の高校生が集まっているということもあり、北海道から私の住む沖縄まで、英語だけでなく日本の文化の違いや、方言も学ぶことができる貴重な体験を同時進行で行えた事が素晴らしいと思った。特に、知らない食べ物や面白い言葉に、バスの中で大変盛り上がったのも思い出の一つだ。

人間的にも大きく成長できたと思う。親元を離れ、生活したことのない私にとっては、海外での生活は「自立」を体験する良い場となった。一番感じたのは、やはり自分の意見をはっきりと言える主張性の大切さだ。これから日本で進路活動をしていくにあたり、面接や人前で話すという場面は、やはり少なからず遭遇するだろう。しかしこの経験から、「知らない人と話す」ということにあまり抵抗を感じなくなれた事は、私にとって大きな強みとなったであろう。

企画して下さい下さった方々、応援してくれた両

親、それになんといっても、費用を出してくれた祖父や祖母には感謝してもしきれない。これからも私たちの後輩のためにぜひ、バンクーバー・シアトルの海外研修を続けて行ってほしいと思う。

Forever in my heart.

永遠に心の中に。

海外研修に参加して

沖縄県立美来工科高等学校
自動車工学科 2年 生徒

1. ホームステイ、ホストファミリー

私のホストファミリーは、父、母の二人と、ペットの犬2匹でした。ホームステイ先の家に泊まった初日、緊張している私を見てお母さんが「今日からここはあなたの家だからリラックスして過ごしてね」と言ってくれました。その言葉で安心することができ、そこからファミリーとお喋りを楽しんだりすることができるようになりました。お母さんは気さくでとても話しやすく、よくお喋りをしていました。私が何て言っているのか聞き取れないときはゆっくり分かりやすい言葉に変えて話してくれました。

休日は、ショッピングモールや海、フリーマーケットに連れて行ってくれました。ショッピングモールではアクセサリをプレゼントしてくれて、とても嬉しかったです。ファミリーとの時間は、とても楽しくて勉強にもなり貴重でいい経験になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。



ホストファミリー

2. バンクーバー

バンクーバーでは、スタンレーパーク、キャピラノ吊り橋、ギヤスタウン、パブリックマーケットなど沢山の場所を散策しました。日本とは違う空気で見えるものすべてが魅力的で刺激的で、とてもわくわくして楽しかったです。



トーテムポール前

3. BCIT

BCIT という大学は工業系の大学で、24時間開いている図書館があり、いつでも勉強したいときにできます。日本の大学は社会に出て即戦力として使えないが、BCITは社会に出たら即戦力としてすぐに働けるそうです。とてもいいシステムだと思いました。

4. シアトル

カナダからシアトルまでは意外に近くすぐにつきました。ですが税関で1時間くらいかかりました。

シアトル観光ではセフィコフィールド、航空博物館、ボーイング社、スターバックス1号店に行きました。

セフィコフィールドはマリナーズの球場で選手の写真が沢山並んでいました。私たちが行った日は、たまたま試合の日で夜から試合をすと言っていました。芝が綺麗に刈られていて網の目状になっていて芸術作品でした。

スターバックス1号店は人がいっぱい30分くらい並んで入りました。待っている間友達と交代で近くを見て回ったのですが市場みたいなところがあり、中では洋服やアクセ

サリー、絵など沢山のものが売られていて見ただけで楽しかったです。順番が来て中に入るとコーヒーの良い匂いがしました。店内には限定のグッズやコーヒーが売られていてお土産を沢山買いました。シアトル観光は良い思い出になり、とても楽しかったです。



セフィコフィールド

5. 感想

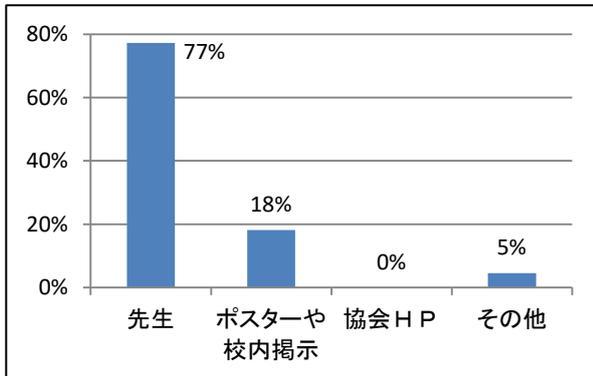
初めは初の海外だったので少し不安でした。それに、初めて会う研修のメンバーともうまくやっていけるか不安だらけでした。ですがそんな不安をすべて吹き飛ばしてしまうほど良いものとなりました。この研修では人との出会いやカナダの文化、本物の英語をじかに感じられるとても貴重な経験になりました。

ホームステイでは全て英語での会話で初めは戸惑いがありうまく話すことができませんでした。ですが話しているうちにだんだんと聞き取れるようになってきて自分でもびっくりしていました。それと同時に英語で話せたらもっと楽しいだろうなと思いました。人との繋がりが広がるし、コミュニケーション能力も上がると思ったからです。

カナダで出会ったホストファミリーやカナディアン生徒は、皆優しくて私を笑顔にしてくれました。一緒に研修に参加した皆も最高のメンバーで笑いが絶えませんでした。この出会いはとてもとても大切なものになりました。今回の研修は私の価値観を大きく変えてくれるとても貴重な経験でした。こんな貴重な経験をさせてくれた、家族、先生方に感謝します。ありがとうございます。

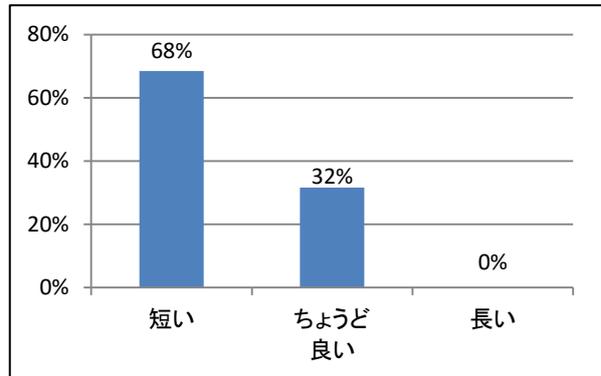
10. アンケート結果

1. どうして知りましたか？

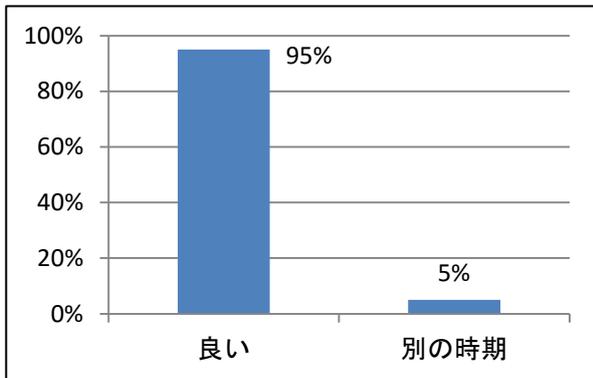


【その他】昨年度に行った先輩のお話を聞いて

2. 期間はどうか？



3. 時期はどうか？

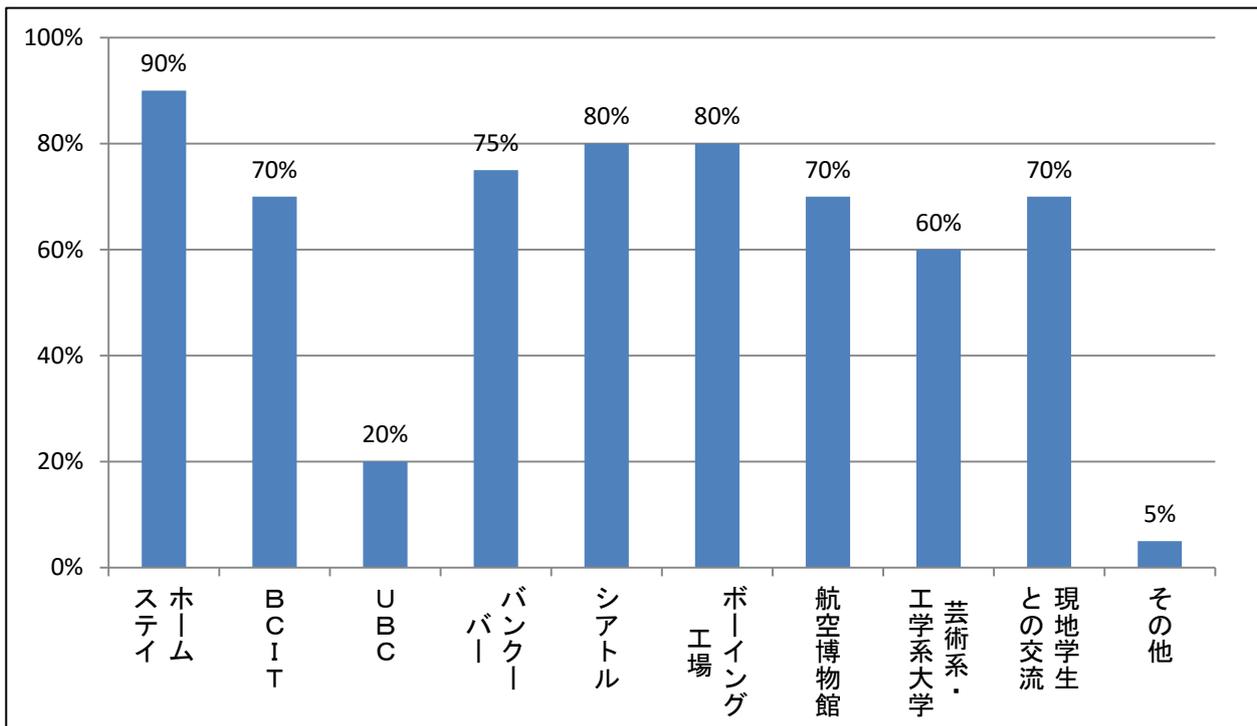


【別の時期】冬など



キャピラノ吊り橋

4. 研修の内容で良かったものは何ですか



11. 研修生の感想

① ホームステイについて

- 土日のホストファミリーとの交流。
- とてもやさしい。
- 私に合った食事、やさしいマザー、キレイな部屋、カンペキです！！
- 男子は2人ずつだったので安心できた。
- とても優しかった。
- ホームステイ先の方が優しかった。買い物に連れていってくれた。色々話して楽しかった。
- やさしい家庭。
- ホストファミリーと過ごす日が2日あってよかった。
- ホームステイ先の方は優しく、快適に過ごせました。
- 英語で話す良い機会になった。
- ホームステイ先の方々がとてもやさしい方で安心して泊まることができました。
- 家族はとてもやさしくて楽しい。
- ホストファミリーといっしょに遊んだり、英語で話したりできて良かったです。
- ホームステイの家族が良い人だった。
- たのしかった。
- 全部良かった。
- ホームステイの人達がみんな優しかった。

② 現地学生との交流について

- 現地学生がフレンドリーでとても仲良くなることができる。
- とてもフレンドリー。かわいい。
- 英語が分からない私達にもやさしくて良かったです。
- 年下だったけど、とてもフレンドリーで良かった。
- 最後の交流会が楽しかった。もう少し人数が多いと良かったと思った。
- 意外とカナディアンの生徒と仲良くできたのでとても良かった。
- 楽しかった。

- たのしく交流できました。コミュニケーション能力の向上を感じることができました。
- 短い期間で友達ができ、学生と過ごす時間はずっと楽しかった。
- とてもたのしかったです。日本人とはひと味もふた味も違う世界を見られました。
- 現地学生はとても明るく、フレンドリーで楽しいです。
- カナディアンの生徒に習字で名前を書いてあげることができて良かったです。
- ゲームによって盛り上がり仲良くなれた。
- 楽しかった！

③ ブリティッシュコロンビア工科大学 (BCIT) キャンパス見学

- たくさんの学科の人が興味を持って見学できる。
- 英語が速過ぎて分からなかった。
- 広くてキレイだった。
- 海外の大学を見たり、説明を聞いたりする機会はあまりないから。
- 工業チック。
- 英語での説明が分からなかったけどすごかった。
- 進路を考える良い機会となりました。
- とても大きなキャンパスでツアーをしてくれた方もとても良い方で分かりやすかった。
- 自分の進路の勉強にとっても役に立つ！！
- 分からないことばかりあったけど、とても良い経験で良かったと思う。
- 日本より進んだ技術を目の前で見られた。
- 英語の説明を聴き取るのに苦労した。でも、ワクワクした。

④ ブリティッシュコロンビア大学 (UBC) 見学

- とても好きな感じだった。
- 落書きがおしゃれで、説明も分かりやすかった！！
- 良かった。

⑤ バンクーバー市内、スタンレーパーク、キャピラノ吊り橋等の散策

- 文化の違いを知ることができる。
- とても交流を深められた。
- 全部最高でした。
- 旅行の気分が味わえた。
- 日本では味わえない自然を感じられた。
- 雨が降っていたから残念だったけど良かった。
- 楽しかった。
- 晴れていれば良かった。
- 異なる国の文化や景色などに触れられて良かったです。
- Akiko さんのおかげでたのしく散策できました！
- お土産をたくさん買ってしまいました。でも、みんなで盛り上がる。
- キャピラノ吊り橋も初めて渡ったので良い経験になりました。
- 天気が悪かったけどみんなで楽しめた。
- 町がきれいだったし、もう全部良かった。
- 市内はとてもきれいで、吊り橋も良くて楽しかった。

⑥ シアトル市内、セーフコフィールド見学

- とても良い体験ができた。
- 野球好きにはたまらない体験だった。
- 良かった。野球に興味は少しでした。
- セーフコフィールドはスゴかった。うまく言葉にできないがとても興奮した。
- 一番楽しみにしていた。
- 楽しかった。
- 野球は興味ないけどセーフコフィールドはおもしろかった。
- 雰囲気や買い物を楽しむことができました。
- 球場に入れて感動した。
- もう少し多く見学していたかったがとても満足できました！
- マリナーズの球場を見られてとても良かった。
- イチローが座っていたところに座れて良か

ったです。

- 天気がよく球場を良く見られた。
- シアトル市内はとても楽しかった！アメリカの空気が吸えて良かった。

⑦ ボーイング工場見学

- 実際に作っている工程も見られて、楽しんでツアーができた。
- 英語が速くて分からなかった。
- 飛行機にまったく興味のない私でも楽しみました（でも長すぎた）。
- とても広く、日本じゃできない見学ができた。
- おもしろかった。
- 飛行機の工場なんてなかなか行けないのでとてもうれしかった。
- 普段では、なかなか見ることができないと思った。
- 飛行機の仕組みが分かった。
- 写真を撮りたかった。
- とても興味があったので、とても有意義な時を過ごせました。
- 貴重な体験ができた。
- とても貴重なものが見られました。すべてハンドメイドでした。
- 巨大なボーイング機の生産ラインを見られて良い。
- ボーイングの飛行機や飛行機の作っている行程が見られて本当に良かったです。
- 自分たちが乗る飛行機をしっかりと見られた。
- 飛行機がとても大きかった！

⑧ 航空博物館見学

- 目の前で本物の飛行機を見ているように感じられる。
- 英語が速くて分からなかった。
- 飛行機にまったく興味のない私でも楽しみました（でも長すぎた）。
- 迫力がすごく、とても貴重な体験ができた。また行きたい。
- 歴史について順序通り見られて進歩ってすごいと思った。

○飛行機の作っている所を初めて見られて感動した。

○色々な飛行機があつてとても楽しかったが、見学時間が短く、もっと奥まで見学したかった。

○飛行機の歴史が分かった。

○とても楽しかったです。

○もう少し英語の分かりやすいガイドさんが良かったが、少し言っていることは分かったので満足です。

○飛行機の歴史を学ぶことができるので、工業高高校生としてはとても勉強になる。

○大統領専用機の内部が見られて良かったです。

○人のすごさを感じる事が出来た。

○博物館は広かった。

⑨ 芸術系・工学系大学の見学

○BCIT では無かったデザイン学を見学することができた。

○とても好みの大学。

○外国で勉強していることが知れた。

○設備とか増築など、海外の国公立はすごいと思った。

○素敵だった。

○日本人も通っていることが分かった。

○町の雰囲気、大学の雰囲気などが良く分かって良かったです。

○自分の学校以外の大学などの学校を初めて見るのですごく興味深かったです。

○海外の芸術系の大学はオシャレで、日本にはない大学が見られる。

○生徒さんの書いた絵がとても beautiful で良かったと思う。

○日本の設備より良いものを使っているのも、その国の技術を見ることができた。

○芸術系の大学はアート感がすごかった。

⑩ その他

○みんなと仲良くなれて帰るのが本当にさみしい。とっても良い思い出になった！！

⑪ 要望や感想等がありましたら記述してください。

○短い時間だったが、本当に楽しい研修になりました。ありがとうございました。

○とても良い研修でした。この体験を生かしてより良い学習ができればいいと思いました。

○とても良かった。また来たいし、自分から行きたいと思った。

○この研修に参加して、今の自分の英語力を試す良い機会になりました。全国各地の友達もできたので嬉しかったです。また、日本と海外での文化の違いを学べる良い機会でもありました。日本の良さもたくさん知れました。参加できて本当に良かったです。

○ここではまとめきれないほど楽しかった。

○今回の研修では、とつてもためになることを学べました。まず1つに仲間の大切さ。2つには家族に頼りっきりの自分だったことを発見できたこと。3つには何よりも外国を日本人の視点で見学したり、買い物をしたり出来たこと。今回の研修では本当にたくさんのたくさんの事を知り、新たな仲間を作ることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

○今回、この高校生研修に参加できてとても良かったです。多くの他県の友だちができたことも参加して良かったと感じました。本当にありがとうございました。

○もう少し専門系の見学に行きたかったです。

○もっと建築系の見学に行きたかったです

○買い物の時間が足りなかった。

○買い物の時間がほしかったです。

○期間をもっと延ばしてほしい。

12. 結びに

第15回海外研修は、参加者20名（男子12、女子8）で予定どおりに実施できました。参加者はじめ、ご支援いただいた保護者・学校関係者の皆様に心より感謝を申し上げます。

昨年からはじめた「ブログの開設」も引き継ぎました。引率の松崎先生のきめ細かな対応で研修中の様子がリアルタイムでわかり、参加者のご家族や学校関係者にとっては、安全・安心への情報提供になったと思います。

この海外研修は、第1回～10回がオーストラリア、第11回から今回までがカナダ・アメリカで実施してきました。研修内容も充実して安定したものとなっていて参加者も概ね満足していることがアンケート結果からも推察できます。しかし、時代の変化は著しく、TPP交渉の大筋合意にみられるように世界経済の市場が欧米からアジアやアフリカへ向かっています。工業社会もその大きな環境変化の流れに積極的に対応していく時代を迎えています。このようなことから今後の海外研修の方向性について国際化事業推進委員会を中心に多くの皆様からご意見をいただき、新しい形へ改善をしていきたいと考えます。

工業教育だけでなく様々な分野でグローバル人材が強く求められています。この海外研修に参加した工業高校生にとって今回の機会は貴重な経験であったと思います。多感な思春期（高校時代）の海外体験が、それぞれの人生に大いに役立つことを期待するとともに参加した皆さんの今後の活躍を心から祈念します。

（この報告書は、本協会のホームページに掲載する予定です）



Pacific Academy

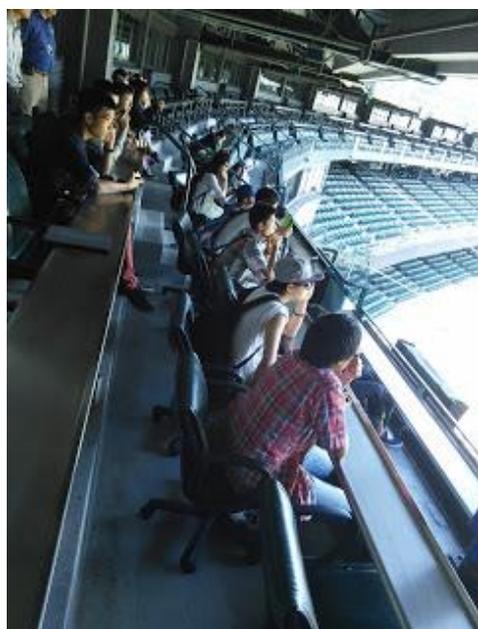
国際化事業推進委員会委員

委員長	笹原 哲也（藤沢工科高校長）	事務局	瀧上 文雄（全工協会事務局長）
委員	關 敏昭（京葉工業高校長）		山田 勝彦（全工協会事務局次長）
	長濱 稔（三郷工業技術高校長）	引率	笹原 哲也（藤沢工科高校長）
	山寺 佳幸（荒川工業高校長）		松崎 克哉（豊橋工業高校）
	宮下 義弘（練馬工業高校長）		

<海外研修風景>



クリフウォーク



セーフフィールド



航空博物館

vancouver2015 x

vancouver15th.blogspot.jp

Vancouver2015

2015年6月22日 月曜日

出発までに、その①

ISS国際交流センター説明会での注意事項をまとめた記事載せたいと思います。

自己紹介
 松嶋克哉
[詳細プロフィールを表示](#)

ブログアーカイブ

- ▼ 2015 (3)
- ▼ 6月 (3)
- ▼ 出発までに、その①
- ISS説明会
- テスト

1.バンクーバーは移民の国である
 皆さんが想像する北米の民族というイメージを捨てましょう。
 バンクーバーに住んでいる人の大半は他国からの移民です。
 日本のような単一民族の国とは違っているので注意しましょう。

2.水に対する考え方を覚えましょう
 日本は水資源が豊かな国です。
 少しシャワーを長く使ったりするのは怒られることはないですが、カナダは水を大切にしています。
 コビトなどで市販されているミネラルウォーターを使ってシャワーを浴びているというくらいのお節用が必要です。
 日本ではもったいないくらいミネラルウォーターを浴びようとは思いませんが、
 それくらいは大切な物であるという意識を持ちましょう。

投稿者 松嶋克哉 時刻: 14:46 0件のコメント: [M](#) [D](#) [L](#) [F](#) [@](#)

ブログ画面

